

## 取扱説明書

### インフォメーションディスプレイ

*MultiSync®*

形名

PN-ME432

PN-ME502

PN-ME552

PN-ME652

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ご使用前に「安全のために必ず守ること」(4ページ)を必ずお読みください。

# もくじ

ご使用前に.....	3	外部制御.....	42
安全にお使いいただくために.....	4	コンピューターで本機を制御する (RS-232C).....	42
商標・ライセンスについて.....	11	コンピューターで本機を制御する (LAN).....	43
付属品を確認する.....	12	コマンドによる制御.....	46
各部の名前.....	13	故障かな?と思ったら.....	47
機器の接続.....	15	アフターサービスについて.....	51
電源の接続.....	17	仕様.....	52
設置について(お客様へ).....	17	付録-A 外部のリソース.....	56
リモコンの準備.....	18	付録-B 一般設定メニュー.....	57
電源の入/切.....	19	映像設定.....	57
電源オンモードと電源オフモード.....	19	音声設定.....	59
パワーマネージメント機能.....	20	付録-C 管理者設定メニュー.....	60
基本的な操作.....	21	入力&出力.....	60
メニュー画面について.....	24	スケジュール.....	62
ホーム画面.....	24	ネットワーク.....	62
アプリケーション - フォルダー.....	26	保護設定.....	65
アプリケーション - Web ブラウザー.....	28	本体設定.....	66
アプリケーション - Updater.....	29	アプリケーション.....	68
アプリケーション - MediaPlayer.....	30	システム.....	68
便利な機能.....	35	端末情報.....	69
電源スケジュールと再起動スケジュール.....	35	設置時の注意事項(ご販売店・設置業者様用).....	70
セキュリティー設定とボタン操作のロック.....	36	設置(設置業者様へ).....	70
リモコンIDモード機能について.....	40		
マルチディスプレイ接続.....	41		

# ご使用前に

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI - B

## 注意

添付のケーブルを使用してください。

HDMI入力端子、RS-232C入力端子はシールドタイプでコア付きケーブルを使用してください。

USB端子、USB Type-C端子、音声出力端子はシールドタイプを使用してください。これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

## 通信回線に接続するときのご注意

本機は法令上、電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダなど）の通信回線（公衆無線LANを含む）に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどの機器を経由して接続してください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

本商品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気に関するガイドライン」に適合しています。

## お知らせ 液晶パネルに関するご注意

※ TFTカラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも本機の動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

※ 同じ画像を長時間表示させないでください。残像現象が起こる場合があります。



残像現象は、動画等を表示することで、徐々に軽減されます。

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- (2) この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 画面表示を含め本書に記載のイラストは説明用のものであり、実際とは多少異なります。
- (5) 本書に記載している数値は、お客様の環境などにより実際の数値と異なることがあります。
- (6) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項および（4）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。




# 安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本書をお読みください。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の財産に損害をあたえたりすることがあります。

図記号の意味は次のとおりです。

	この記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。
	この記号はしてはいけないことを表しています。
	この記号はしなければならないことを表しています。

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

## 警告

 プラグを抜く	<p>下記の場合、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本機から煙が出ている、変なにおいがする、変な音がする場合</li> <li>・本機を落としたり、キャビネットを破損した場合</li> </ul> <p>販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。</p>
 分解禁止	<p><b>裏ぶたを外さない、修理・改造をしない</b></p> <p>内部には電圧の高い部分があり、さわるとけが・火災・感電の原因となります。修理は販売店または「ご相談窓口」にご相談ください。</p>
 使用禁止	<p><b>ぐらついたり、スタンドにひびがある場合は近づかない</b></p> <p>本機が転倒してけがの原因となります。お買い上げの販売店か、工事専門業者にご連絡ください。</p>
<b>電源コードについて</b>	
 禁止	<p><b>電源コードを傷つけない、加工しない</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電源コードを本機や重い物の下敷きしない。</li> <li>・電源コードを敷物などで覆わない。</li> <li>・電源コードを無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない。</li> <li>・電源コードを加熱しない。</li> </ul> <p>電源コードが破損すると、火災・感電の原因となります。破損した場合（芯線の露出・断線など）は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に交換をご依頼ください。</p>
 接触禁止	<p><b>雷が鳴り出したら、電源コードなどには触れない</b></p> <p>感電の原因となります。</p>
 ぬれ手禁止	<p><b>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</b></p> <p>感電の原因となります。</p>
 指示	<p><b>電源コードは添付のものを使用する</b></p> <p>添付の電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用できません。</p>
 指示	<p><b>正しい電源電圧で使用する</b></p> <p>添付の電源コードは AC100V・日本国内専用です。指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。</p>
 禁止	<p><b>アース線を電源コンセントに挿入・接触させない</b></p> <p>火災・感電の原因となります。</p>
 アース線を接続せよ	<p><b>アースに接続する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本機はアース線つき 2 芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードのアース線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実に接続してください。アースに接続しないと感電するおそれがあります。アース工事は専門業者にご依頼ください。</li> <li>・電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線を接続してください。また、アース線を外す場合は、必ず先に電源プラグをコンセントから抜いてください。</li> </ul>
 指示	<p><b>据え付け、取り付けは必ず工事専門業者または販売店に依頼する</b></p> <p>工事が不完全ですと重大事故の原因となります。</p>

## 警告

### 設置するときに気を付けること

スタンドなどの取り付け器具が必要です。

運搬、移動、設置の際は十分な安全を確保できる人数（必ず2人以上）で作業し、必ずすべての取っ手を持ってください。落下してけがの原因となることがあります。

- PN-ME652: 自立スタンドを使用する場合は、床置きしないでください。机などに置いて使用するか、壁掛け金具をご使用ください。

市販の取り付け器具を使用する際は、器具の取扱説明書を参照し、取り付け、取り外し方法の詳細を確認してください。

布などで通風孔をふさがしないでください。内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。

以下の場所には設置しないでください。

- 風通しや換気の悪い所
- 直射日光のあたる所や熱器具のそば
- 振動の多い所
- 湿気、ほこり、油煙、湯気の当たる所
- 腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する所
- 屋外
- 温度、湿度が急激に変化し結露がしやすい所  
結露が起きたときには、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。  
そのまま使用すると故障の原因となることがあります。
- 本機と取付金具の総重量を恒久的に十分に保持できない所  
荷重は必ず梁などの堅牢な構造材で受け、確実に取り付けてください。強度が不十分な場合、落下して重大事故の原因となることがあります。
- 人が容易にぶら下がったり、寄りかけられるような場所、頭や目がぶつかってしまうような所。  
上下逆さまに設置しないでください。

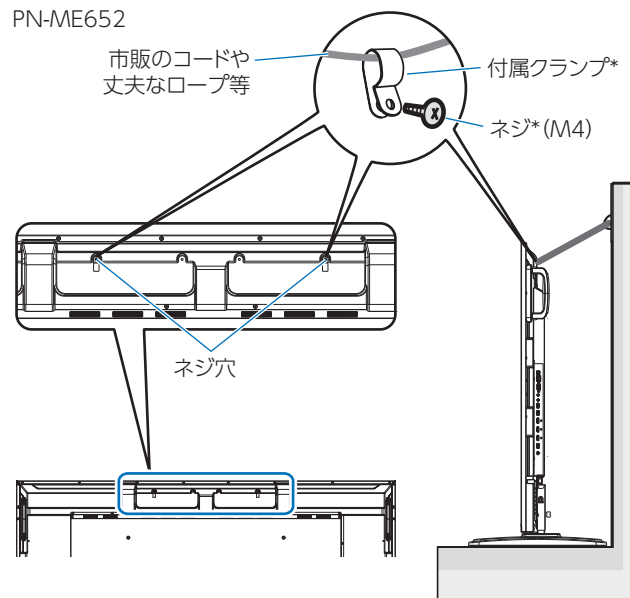


指示

### 地震等での製品の転倒・落下によるけがなどを軽減するために、転倒・落下防止対策を講じる







取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

- 丈夫なロープを用いて本機を固定する  
固定しないと転倒してけがの原因となることがあります。  
固定には付属のクランプ\*を付属のネジ（M4）\*で本機にしっかりとつけてください。（\*：スタンドに付属）スタンドによっては転倒防止対策が施されている場合があります。スタンドの取扱説明書も参照ください。
- 本機を十分保持できる壁や柱などに、しっかり固定する。
- ロープは本機の重さに耐えられる丈夫なものを使用する。
- 本機を移動する場合は、事前にロープを外す。  
落下すると重大事故の原因となることがあります。
- 落下防止用ワイヤーのみでは絶対に壁掛け設置・天吊り設置しない。
- 建物や構造物の丈夫な箇所と本機の所定の箇所を市販のフック、金具などを用いて落下防止用ワイヤーで接続する。
- 市販のフック、金具、ワイヤーは本機を保持するのに十分強度のある物をご使用する。
- 落下防止用ワイヤーは少したるませるように設置する。















指示

## 警告

 指示	<p>安定性と危険について 本機が落下すると重大事故の原因となることがあります。けがなどを軽減するために、本機を設置する際は取扱説明書の手順に従い、床や壁に確実に取り付けてください。特にお子様に関する事故の多くは簡単な方法で防ぐことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 推奨されているスタンドを使用し、取扱説明書の手順に従って取り付ける。</li><li>• 本機を安全に支えることができる什器に設置する。</li><li>• 本機がはみださない大きさの什器に設置する。</li><li>• 本機にさわろうとして設置している什器に登ったりすると危険であることをお子様に説明する。</li><li>• 本機に接続するコードやケーブルは、つまずかないように、また引っ張ったりつかんだりできないように配線する。</li><li>• 本機を不安定な場所に設置しない。</li><li>• 本機を背の高い什器に設置する場合は、本機と什器、什器と壁や柱など、それぞれをしっかりと固定する。</li><li>• 本機の下に布などを敷かない。</li><li>• 本機や設置している什器の上に、お子様の興味を引くようなもの（玩具やリモコンなど）は置かない。</li></ul> <p>設置場所を変える場合は、上記をふまえ設置してください。</p>
 禁止	<p><b>ぐらつく台の上や、傾斜面、不安定な場所に置かない</b> 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。</p>
 禁止	<p><b>異物をいれない</b> 火災・感電の原因となります。特にお子様にご注意ください。 異物が本機の中に入った場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。</p>
 水ぬれ禁止	<p><b>水のかかるところに置かない</b> 水などが本機の内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因となります。 エアコン等水を排出する機器にも注意してください。</p>
 禁止	<p><b>清掃時に可燃性ガスのスプレーを使用しない</b> 火災の原因となります。</p>
 禁止	<p>生命維持にかかわる医療機器などの人命に直接かかわる業務や、航空機、原子力設備などの極めて高い信頼性を必要とする業務には使用できません。</p>








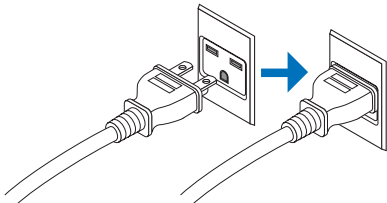
## 注意

### 電源コードについて



 指示	電源プラグの抜き差ししやすい場所のコンセントを使用する
 しっかり 差し込む	<b>電源プラグを奥までさしこむ</b> <b>電源コードが容易に抜けるのを防止する</b> 差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると感電の原因となります。 電源コードが抜けるのを防止するため、本機付属のクランプとネジで固定してください。
 指示	<b>火災や感電を防ぐために、次のことを守る</b> <ul style="list-style-type: none"><li>電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。</li><li>お手入れのときや、夜間、休業日などで長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。</li><li>電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめる。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。</li></ul>
 ほこりを取る	<b>電源プラグのほこりなどは定期的に取り</b> 火災・感電の原因となることがあります。
 指示	<b>電源コードやケーブル類を抜いてから移動する</b> コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。電源コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。
 禁止	<b>電源コードは、タコ足配線しない</b> タコ足配線をすると、過熱により火災の原因となることがあります。
 禁止	<b>電源コードおよび USB ケーブルは束ねない (丸めない)</b> ケーブルが発熱して火災の原因となるおそれがあります。
 禁止	<b>過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない</b> 本機の LAN ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LAN ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。
 禁止	<b>本機を設置している台には乗らない</b> 本機が倒れたり、置き台が動いたりしてけがの原因となることがあります。 キャスター付き置き台に本機を設置する場合は、必ずキャスター止めをしてください。
 指示	<b>スタンドの取り付けや高さを調節する場合</b> 本機とスタンドの間に手や指をはさむとけがの原因となることがあります。 高さ調節が可能なスタンドは指定された位置に固定してください。指定以外の位置では、転倒してけがの原因となることがあります。
 禁止	<b>本機を強く押さない、乗らない、つかまない、ぶら下がらない</b> <b>硬いものでこすったり、たたいたりしない</b> 破損して火災、感電、けがの原因となることがあります。
 禁止	<b>画面に衝撃を加えない</b> <b>先のとがった物で押さない</b> 破損してけがや故障の原因となることがあります。



## ⚠ 注意

 指示	<p><b>乾電池は適切に取り扱う</b></p> <p>乾電池は誤った使い方をすると液漏れや破裂によるけがの原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定以外の電池を使用しない。</li> <li>・ 乾電池のプラスとマイナスを、表示のとおり正しく入れる。</li> <li>・ 種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。 乾電池は種類によって特性が異なります。</li> <li>・ 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。 新しい乾電池の寿命を短くしたり、古い乾電池から液が漏れるおそれがあります。</li> <li>・ 乾電池が使えなくなったら、すぐに取り出す。 液が漏れて故障の原因となるおそれがあります。 漏れた液に触れたときは、ただちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。 漏れた液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。 皮膚がかぶれたり、目に障害を与える原因となるおそれがあります。</li> <li>・ 長時間使わないときは、電池を取り出す。</li> <li>・ 高温になる場所や気圧の低い場所に放置しない。 破裂したり乾電池から可燃性の液やガスが漏れる可能性があります。</li> <li>・ 乾電池を水の中に投入したり、器具での押しつぶしたり、焼却、加熱、切断、改造しない。 破裂のおそれがあります。</li> <li>・ 乾電池をショートや充電をしない。</li> <li>・ 乾電池を廃棄する際は、プラス (+) とマイナス (-) をセロハンテープで絶縁して廃棄する。 廃棄する際は販売店、または自治体に問い合わせてください。</li> </ul>
 禁止	<p><b>本機の温度が高くなる部分に長時間触れない</b></p> <p>低温やけどの原因となることがあります。</p>
 指示	<p><b>適度な明るさの環境で使用する</b></p> <p>画面の反射による目の疲れを防ぐために、適度な明るさの中でご使用ください。</p>
 通風孔の清掃	<p><b>通風孔を掃除する</b></p> <p>通風孔がごみやほこりでふさがると内部に熱がこもり火災や感電の原因となることがあります。月に一度は通風孔に付着したごみやほこりを取り除いてください。</p>
 内部清掃	<p><b>1年に一度は内部掃除を</b></p> <p>内部にほこりがたまったらそのまま使うと、内部に熱がこもり火災や故障の原因となることがあります。内部掃除は販売店にご依頼ください。</p>
 指示	<p><b>温度や湿度が急激に変化する環境での使用や保管は避ける</b></p> <p>以下の使用環境・保管環境を守らなかった場合は故障、火災や感電などの原因となることがあります。</p> <p>使用環境温度：0 ～ 40℃ / 湿度：20 ～ 80%（結露のないこと）          保管環境温度：-20 ～ 60℃ / 湿度：10 ～ 90%（結露のないこと）</p>
 指示	<p><b>電源コードについて</b></p> <p>AC200 V (50/60 Hz) のコンセントを使用するときは、別売の電源コード (QACCJ1093MPPZ) を使用してください。</p> <p>別売の電源コードをお使いになるときは、3 芯コンセントに直接接続し、機器のアースを確実に接続してください。2 芯プラグへの変換アダプターは使用しないでください。アースが接続できない場合は、専門の工事業者にご相談ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。</p> <div style="text-align: center;">  </div>

## 使用上のご注意

 <p>国内専用</p>	<p>本製品は日本国内用として製造・販売しています。 日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。 またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではお受けできません。 This product is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.</p>
 <p>指示</p>	<p><b>キャビネットのお手入れ</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• お手入れの際は電源プラグを抜いてください。</li><li>• 柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。</li><li>• ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質・ひび割れしたり、塗装がはげる原因となることがあります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットおよびスタンドが変色したり、変質・ひび割れするなどの原因となることがあります。</li></ul>
<p><b>画面のお手入れ</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 画面にほこりがついた場合は、市販の静電気除去ブラシ（除じん用ブラシ）をお使いください。</li><li>• 画面の汚れは、乾いたきれいな布で軽くふき取ってください。しめった布や化学ぞうきんでふき取らないでください。また、同じ布を繰り返し使用しないでください。</li><li>• 画面は傷つきやすいので、硬いもので押しったりこすったりしないように注意してください。</li><li>• 画面は触指などにより汚れることのないように注意してください。</li></ul>	
<p><b>上手な見方</b></p> <p>明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。 また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。</p>	
<p><b>部品寿命による影響</b></p> <p>保証期間を超えて長くご使用した場合、部品劣化によるリスクが高まりますので、製品の買い替えのご検討をお願いします。</p>	
<p><b>電磁波妨害に注意してください</b></p> <p>本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。</p>	
<p><b>連続稼働時間と保証について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 当製品は、1日18時間以内での使用時間を前提に設計されています。1日18時間を越える連続稼働使用は保証対象外となります。</li></ul>	
<p><b>Android システムの再起動について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 安定して動作させるため、1日に1回Androidシステムの再起動が必要です。</li><li>• 指定の時刻にAndroidシステムを再起動することができます。(62 ページ)</li></ul>	

### 個人情報の初期化

本機には、IP アドレス等、個人情報が記録されている可能性があります。  
廃棄・譲渡する際には、オールリセットをおこない、設定の初期化をしてください。

## ■ 本機を廃棄するには(リサイクルに関する情報)

地球環境保全と資源の有効活用のため、不要になった製品のリサイクルにご協力ください。詳しくは当社 Web サイトをご参照ください。

「製品リサイクルのご案内」について

<https://www.sharp-nec-displays.com/jp/environment/recycle/index.html>

---

## 商標・ライセンスについて

- Microsoft® および Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- DisplayPort および DisplayPort ロゴは、Video Electronics Standards Association の米国その他の国における商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- MultiSync はシャープ NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。
- macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Android は、Google LLC の商標または登録商標です。
- Ethernet は米国ゼロックス社の登録商標です。
- VESA は Video Electronics Standards Association の米国および他の国における登録商標または商標です。
- Blu-ray は、Blu-ray Disc Association の商標です。
- USB Type-C® および USB-C® は USB インプリメンターズ・フォーラムの登録商標です。
- Arm および Cortex は、米国およびその他の地域における Arm Limited (またはその子会社) の登録商標です。
- その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。
- Crestron™、Crestron ロゴ、Crestron Connected™、Crestron Fusion™、および XiO Cloud™ は、Crestron Electronics, Inc. の、米国その他の国における商標または登録商標です。



---

### [お知らせ] 本製品で使用している MPEG-4 AVC、MPEG-4 Visual ライセンスについて

---

#### 1. MPEG AVC

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

#### 2. MPEG-4 Visual

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

# 付属品を確認する

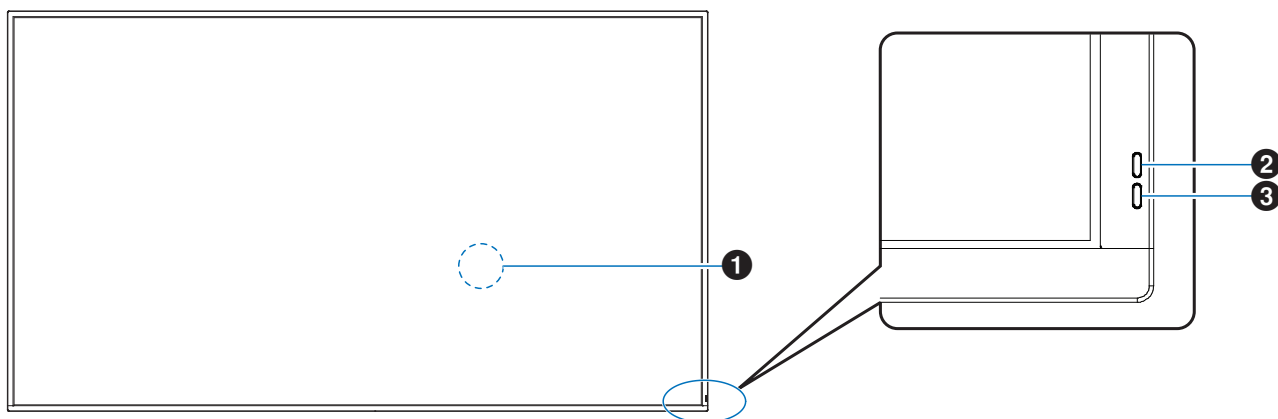
万一、不足のものがありましたら、販売店にご連絡ください。

- 本体：1 台
- リモコン：1 個
- ケーブルクランプ：1 個
- 電源コード（AC100V 用・約 3m）：1 本
- リモコン用乾電池（単 4 形）：2 本
- セットアップマニュアル：1 部
- 保証書：1 部
- ケーブルクランプ取付ネジ（M4 x 6）：1 個
- HDMI ケーブル（約 3 m）：1 本
- 重要なお知らせ：1 冊

※ AC200V (50/60Hz) のコンセントを使用するときは、別売の電源コード(QACCJ1093MPPZ)を使用してください。

# 各部の名前

## ■ 前面

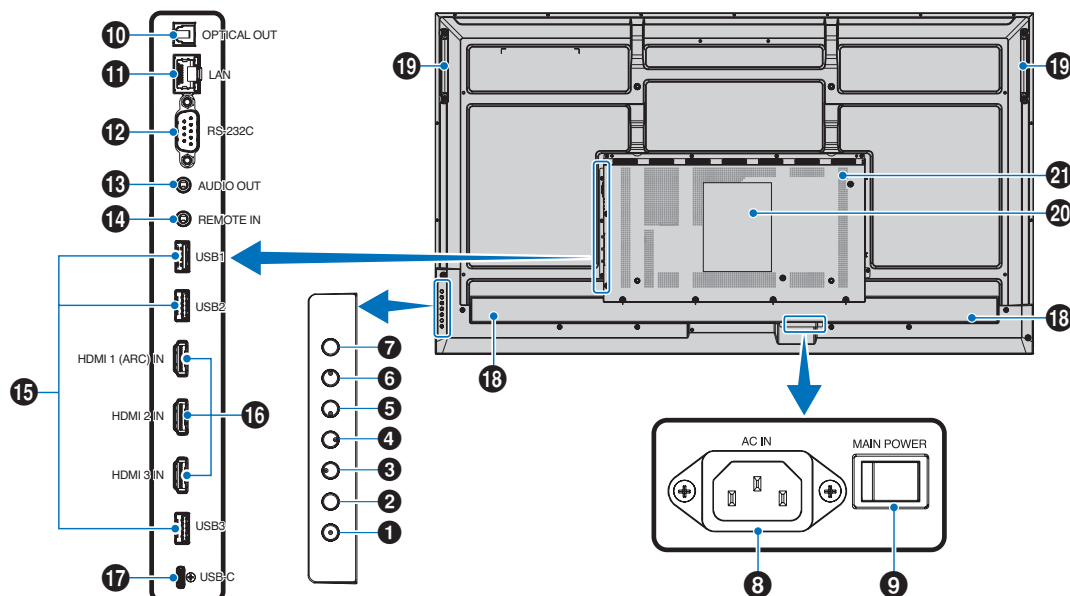


- ① リモコン受光部 (18 ページ)
- ② 外光センサー (58 ページ)
- ③ 電源ランプ (19 ページ)

### ご参考

- ・ 外光センサーは周囲の明るさを検知するセンサーです。「外光センサー」を有効にした場合に使用します。「外光センサー」を有効にしたときは障害物の陰にならないよう注意してください。

## ■ 後面



- ① POWER (電源) ボタン (19 ページ)
- ② MENU/EXIT ボタン (14 ページ)
- ③ ◀ (右) ボタン \*1 (14 ページ)
- ④ ▶ (左) ボタン \*1 (14 ページ)
- ⑤ ▼ (下) ボタン \*1 (14 ページ)
- ⑥ ▲ (上) ボタン \*1 (14 ページ)
- ⑦ INPUT/SET (入力切替) ボタン (14 ページ)
- ⑧ 電源接続端子 (17 ページ)
- ⑨ 主電源スイッチ (19 ページ)
- ⑩ デジタル音声出力 (光) 端子 (15 ページ)
- ⑪ LAN 端子 (15 ページ)
- ⑫ RS-232C 入力端子 (15 ページ)

⑬ 音声出力端子 (15 ページ)

⑭ リモート入力端子 (ステレオミニジャック) (15 ページ)

⑮ USB 端子 (15 ページ)

⑯ HDMI1/2/3 入力端子 (HDMI1 (ARC) /HDMI2/  
HDMI3) (16 ページ)

## ボタンの機能

### ご参考

- OSD はオンスクリーンディスプレイの略称です。

#### ② MENU/EXIT:

OSD 画面が表示されていないときに押すと、OSD 画面を表示します。

OSD 画面が表示されているときは、ひとつ前の OSD 画面に戻ります。

一般設定メニュー画面が表示されているときは、OSD 画面を閉じます。

#### ③ ◀\*1:

OSD 画面内を右に移動します。

OSD 画面で調節項目を選択し、このボタンを押して設定値を大きくします。

HDMI または USB-C 入力の場合、OSD 画面が表示されていないときに押すと、音量が大きくなります。

#### ④ ▶\*1:

OSD 画面内を左に移動します。

OSD 画面で調節項目を選択し、このボタンを押して設定値を小さくします。

HDMI または USB-C 入力の場合、OSD 画面が表示されていないときに押すと、音量が小さくなります。

⑰ USB Type-C 端子 (電源供給 5 V/3 A) (16 ページ)

⑱ スピーカー

⑲ 取っ手

⑳ ラベル

㉑ 通風孔

#### ⑤ ▼\*1:

OSD 画面内を下に移動したり、調節項目を選択します。

#### ⑥ ▲\*1:

OSD 画面内を上移動したり、調節項目を選択します。

#### ⑦ INPUT/SET:

INPUT: OSD 画面が表示されていないときに押すと、入力切替メニューを表示します。以下の映像入力を切り替えます。

[HOME]、[HDMI1]、[HDMI2]、[HDMI3]、  
[USB-C]、名称は工場出荷時のものです。

SET: OSD メニューを選択したり、実行します。

\*1: ◀、▶、▲、▼ の機能は、ディスプレイの向き (ランドスケープポートレート) によって変化します。

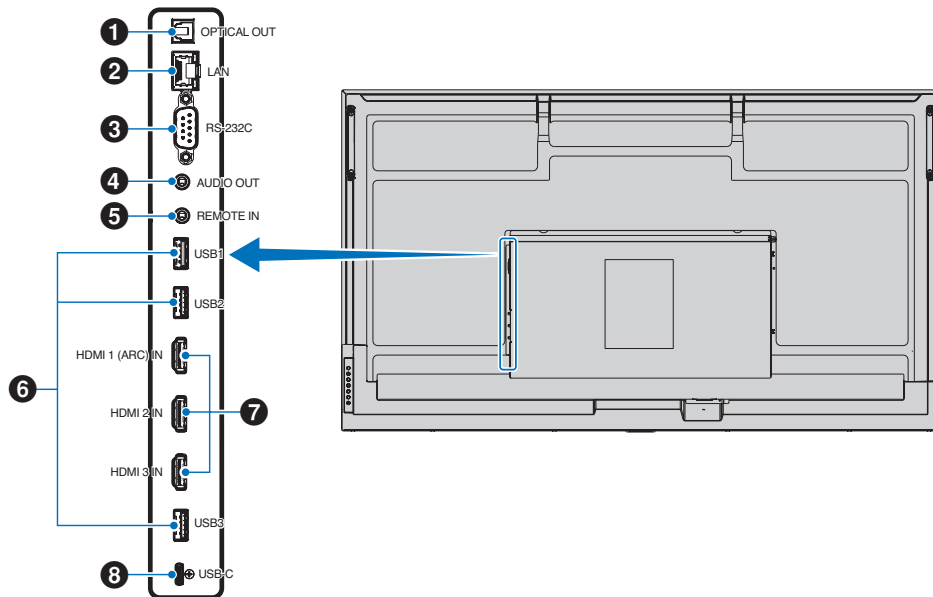
## ■ リモコン



#### ① 発信部

#### ② 操作ボタン (21 ページ)

# 機器の接続



## ① デジタル音声出力（光）端子

光デジタル音声入力端子を備えたオーディオ機器等に接続します。

## ② LAN 端子 (RJ-45)

市販の LAN ケーブルを使ってネットワークに接続します。ネットワーク経由で、本機をネットワーク上のコンピューターから制御することができます。

## ③ RS-232C 入力端子 (D-Sub 9-pin)

市販の RS-232C リバースタイプ（クロスタイプ）ケーブルを使ってコンピューターに接続すると、本機をコンピューターから制御することができます。詳細は本取扱説明書の「コンピューターで本機を制御する (RS-232C)」を参照ください。

## ④ 音声出力端子

選択されている音声を出力します。

### ご注意

- ヘッドホン用端子ではありません。

## ⑤ リモート入力端子 (ステレオミニジャック)

コネクタに別売のコントロールキットのセンサーユニットを接続すると、センサーユニット上のリモコン受光部を利用してリモコンで制御できます。

### ご注意

- 指定のもの以外は使用しないでください。

### ご参考

- センサーユニットを接続した場合、本機のリモコン受光部は動作しません。
- 本機に付属しているリモコンを使って操作してください。

## ⑥ USB 端子

**USB1 (Hub/0.5 A) :** USB2.0 Type-A 端子。

**USB2 (Hub/0.9 A) :** USB3.0 Type-A 端子。

外部 USB 機器（カメラ、USB メモリー、キーボードなど）やメディアプレーヤー機能で使用する USB メモリーを接続できます。

**USB3 (Hub/0.9 A) :** USB3.0 Type-A 端子。

この端子に接続したマウスなどの外部機器で、USB-C 端子に接続しているコンピューターを制御できます。外部 USB 機器（カメラ、USB メモリー、キーボードなど）も接続できます。

### ご注意

- USB ケーブルのコネクター形状および向きをよく確かめてから接続してください。
- 本機の電源がオンのときに USB ストレージデバイスを本機に接続 / 取り外ししないでください。本機の故障やデバイスに保存されたファイルの破損を避けるために、本機の電源がオフのときにデバイスの接続 / 取り外しをすることをおすすめします。

### ご参考

- 本機に接続した USB ストレージデバイスが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。使用する USB メモリーは、FAT32 形式フォーマットにしてください。フォーマット方法については、お使いのコンピューターの取扱説明書またはヘルプファイルを参照ください。
- 市販されているすべての USB ストレージデバイスの動作を保証するものではありません。
- USB 端子に接続した USB メモリーには、Android のシステムファイルが自動的に作成されます。

## 7 HDMI1/2/3 入力端子 (HDMI1 (ARC) /HDMI2/HDMI3)

デジタル映像インターフェースの HDMI 規格に準拠した機器と接続します。

HDMI ケーブルは HDMI ロゴがついているものをご使用ください。

4K 信号を入力するときはハイスピード対応の HDMI ケーブルをご使用ください。

### HDMI1 (ARC):

HDMI1 端子は ARC (オーディオリターンチャンネル) 機能に対応しています。ARC に対応した HDMI ケーブルを接続してください。

### ご参考

- 付属の ARC 対応 HDMI ケーブル 1 本で、本機の音声を AV アンプなど ARC 対応のオーディオ機器から出力することができます。付属のリモコンを使用してオーディオ機器の音声などを調節することができます。
- 本機の映像入力機能は HDCP (High-Bandwidth Digital Content Protection) で保護された映像コンテンツに対応しています。HDCP の規格が変更された場合など、本機が故障していなくても、デジタル入力信号の映像が表示されないことがあります。
- HDMI の仕様により、お使いの HDMI ケーブルや HDMI 機器では映像を正しく表示することができない場合があります。
- 対応信号は対応信号一覧 (52 ページ) を参照ください。

## 8 USB Type-C 端子 (電源供給 5 V/3 A)

USB ケーブルを接続する際は、端子形状が合っていることを確認してください。USB Type-C 端子を電源に使用する場合は、3A 対応の USB ケーブルを使用してください。

DisplayPort Alternate Mode に対応した機器を接続することができます。接続された機器に電源を供給するためには、Power delivery 規格に対応している必要があります。

### ご注意

- USB ケーブルを束ねないでください。過熱や火災の原因となります。

### ご参考

- 接続したすべての機器に電源の供給を保証するものではありません。接続した機器の取扱説明書で供給に必要な条件を確認してください。

### 注意

添付のケーブルを使用してください。

HDMI 入力端子、RS-232C 入力端子はシールドタイプでコア付きケーブルを使用してください。

USB 端子、USB Type-C 端子、音声出力端子はシールドタイプを使用してください。これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

### ご注意

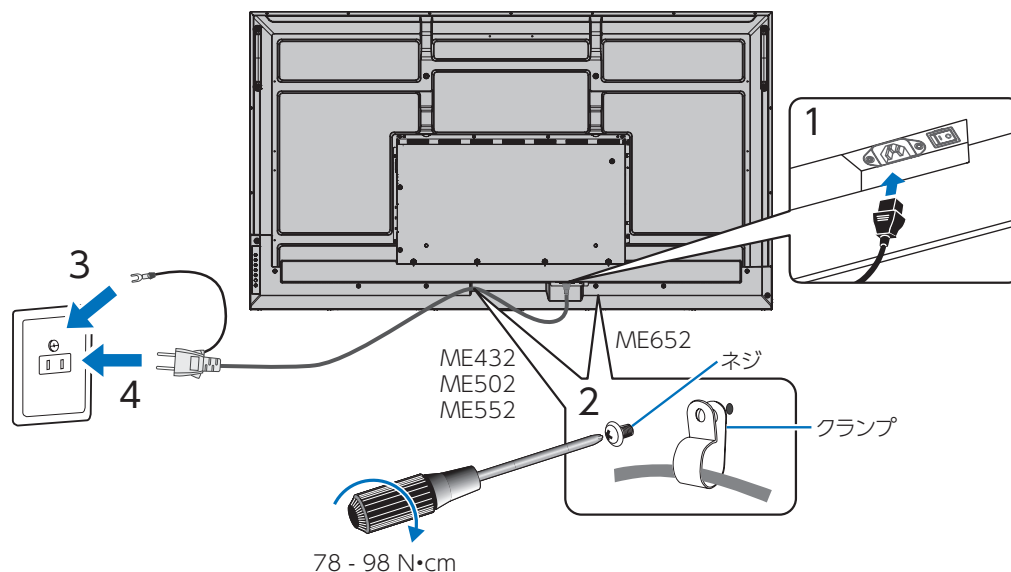
- 本機または外部機器の主電源がオンの場合、ケーブルを抜き差ししないでください。
- 接続するオーディオ機器端子の形状がステレオミニジャックの場合は、オーディオケーブルは抵抗なしを使用してください。抵抗ありのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくならなかったり、音が出ない場合があります。

### 接続する前に

- コンピューターに接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の主電源を切ってください。
- それぞれの機器の取扱説明書を参照してください。
- USB ストレージデバイスは本機の主電源がオフのときに抜き差しすることをおすすめします。
- USB メモリーは必要に応じてウィルスチェックを実施してください。



# 電源の接続



## ご注意

- 電源コンセントに接続するときは、本機の使用に十分な電力が供給されることを確認してください。本機の使用電力は「仕様」を参照ください。
- 電源コードは本機に接続してから電源コンセントに接続してください。

## ご参考

- AC200 V (50/60 Hz) のコンセントを使用するときは、別売の電源コード (QACCJ1093MPPZ) を使用してください。

# 設置について(お客様へ)

設置業者の紹介につきましては、販売店へご相談ください。壁掛けや天吊り設置に関する設置業者との契約につきましてはお客様の責任においてご契約ください。

## 設置後のメンテナンス

- ねじのゆるみや部品のずれ・ゆがみなど異常や不具合が発見された場合には、すぐに工事専門業者または販売店に修理を依頼してください。
- 環境によっては経年変化で取り付け部などの強度が不足するおそれがあります。定期的に工事専門業者に点検を依頼し、メンテナンスをしてください。

## ご注意

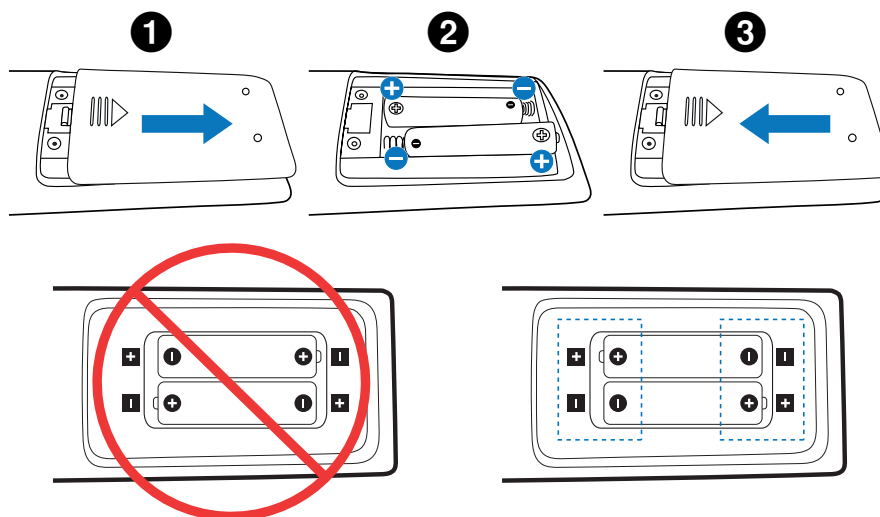
- 本体のパネル表面にガラスやアクリル製の保護カバーをかぶせると、パネル表面が密閉され内部温度が上昇します。コンピューターのパワーマネージメント機能を利用したり、ディスプレイの輝度を低くするなどして内部温度の上昇を防いでください。

# リモコンの準備

## ■ 電池の入れかた

単 4 形乾電池 2 つが必要です。

下図に従って電池を入れてください。



### ご参考

- ・ リモコンに付属の乾電池は保存状態により短時間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- ・ 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して保管してください。
- ・ 電池は、マンガン乾電池またはアルカリ乾電池を使用してください。

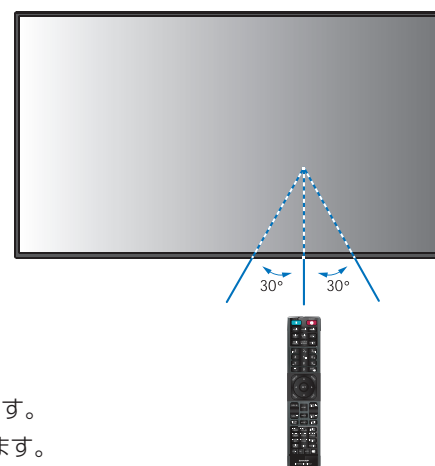
## ■ リモコンで操作できる範囲

リモコンの操作をするときは本機のリモコン受光部の方向にリモコンの先を向けてください。

リモコンは、リモコン受光部から 7 m 以内、上下左右 30°では 3.5 m 以内でご使用ください。

### リモコンの取り扱いについて

- ・ 強い衝撃を与えないでください。
- ・ 水に濡らさないでください。もし濡れた場合は、すぐにふき取ってください。
- ・ 熱やスチームなどにあてないでください。
- ・ 電池を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

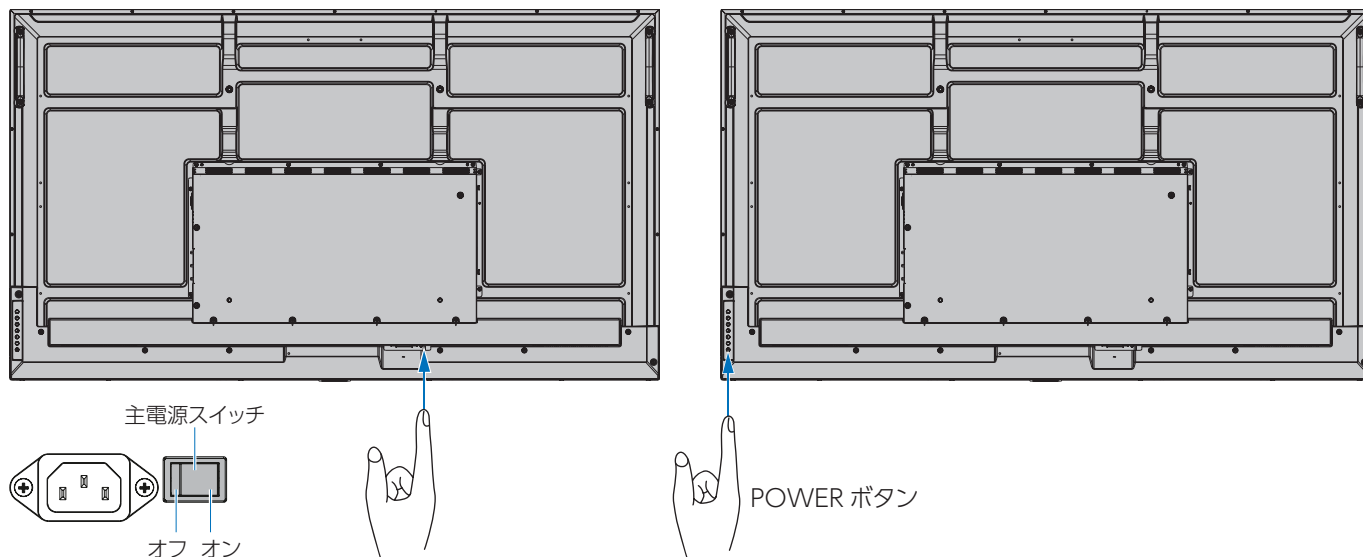


### ご注意

- ・ リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
- ・ リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- ・ 電池が消耗してくると、操作できる距離が徐々に短くなります。早めに新しい電池に交換してください。
- ・ 蛍光灯などが近くにある場合は、動作しにくいことがあります。
- ・ 誤動作防止のために、エアコンやステレオコンポなど、他の機器のリモコンと同時に使用しないでください。
- ・ 他の機器のリモコンによる影響が懸念される場合は、リモコンの識別 ID (リモコン ID) を設定するなどして誤動作を防止してください。

# 電源の入／切

主電源の切／入は、主電源スイッチでおこなってください。主電源が「切」の場合、電源を入れることはできません。本機の電源を入れたあとに、コンピューターや再生機器の電源を入れてください。



## ■ 初回起動時の操作

初めて電源を入れると、スタート画面が表示されます。リモコンの ▲/▼ ボタンで「スタート」を選択し、SET ボタンを押してください。表示される画面に従って、言語や日付などを設定してください。

## 電源オンモードと電源オフモード

POWER ボタンを押して本機をオンにします。

本体の電源ランプが、電源の状態を示します。電源ランプと本機の状態とその復帰方法については、以下の表を参照ください。

電源ランプ色と点灯パターン	状態	復帰方法
青色点灯	通常動作時	1. リモコンもしくは本体のボタンで本機をオンする。 2. 映像信号を入力する。
緑色点滅 <sup>*1</sup>	選択している映像信号がない状態で一定時間経過した場合で以下の状態のどれかを満たした場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>「自動入力切換」(OSD 機能) が「オフ」以外になっている場合</li> <li>「USB 電源」が「オン」になっている場合</li> <li>USB Type-C 端子にケーブルを接続し、「USB 電源」が「オン」になっている場合</li> <li>「クイック起動」が有効になっている場合</li> <li>「ロック設定」の「選択」で「Key」または「Key &amp; IR」を、「モード」で「All Lock」または「Custom Lock」を設定している場合</li> </ul>	
橙色点灯	ネットワーク信号があり、選択している映像信号がない状態で一定時間経過した場合	1. リモコンもしくは本体のボタンで本機をオンする。 2. 映像信号を入力する。 <sup>*2</sup> 3. 信号ケーブルを再接続する。
橙色点滅	ネットワーク信号および選択している映像信号がない状態で一定時間経過した場合	
赤色点灯	ネットワーク機器や映像信号機器との接続状態に関わらず、リモコンなどで本機をオフした場合	1. リモコンもしくは本体のボタンで本機をオンする。

<sup>\*1</sup>: 本機がパワーセーブに移行する時間は、OSD メニューの「保護設定」→「パワーセーブ設定」→「時間設定」で設定できます。

<sup>\*2</sup>: 「通常省電力」(90 ページ) の場合のみ。

### ご参考

- 通常動作時は青色に点灯します。LED を消灯したい場合は「本体設定」→「アドバンス」→「電源ランプ」を無効にしてください。
- スタンバイ状態のときに主電源を切ると、次に主電源を入れたとき、本機はスタンバイ状態になります。電源ランプは青色に点滅します。

### ご注意

- 電源ランプが短い点灯と長い点灯の組み合わせで赤色に点滅した場合は故障の可能性があります。販売店へお問い合わせください。
- ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があり、バックライトの明るさは使用時間に応じて低下します。
- 同じ画像を長時間表示させないでください。残像現象が起こる場合があります。残像現象は、動画等を表示することで、徐々に軽減されます。
- 本機を長くご使用いただくために、次の点にご注意ください。
  - 使用していないときは本機の主電源を切ってください。
  - 本体の POWER ボタンまたはリモコンのSTANDBYボタンで本機をスタンバイ状態にしてください。
  - OSDメニューの「保護設定」→「パワーセーブ設定」を使用してください。信号が入力されないときに自動的にパワーセーブモードに切り替わります。

---

## パワーマネージメント機能

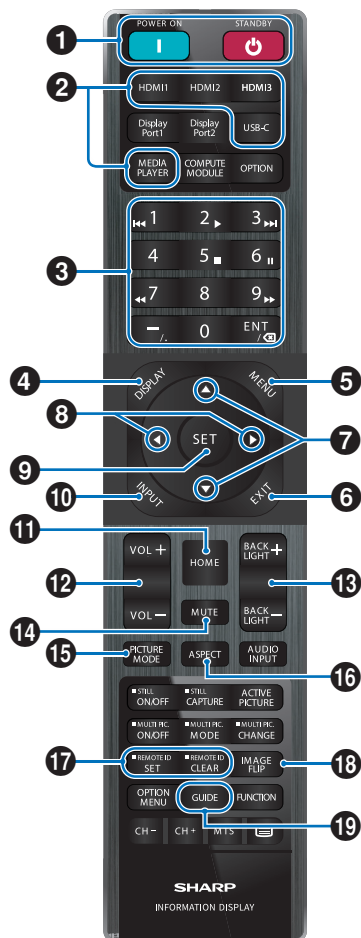
本機の主電源を入れたままでも、コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

ビデオカードによっては正しく動作しない場合があります。OSDメニューの「保護設定」→「パワーセーブ設定」→「パワーセーブ」を有効にした場合、入力信号が失われてから設定した時間が経過すると、自動的にパワーマネージメント機能に入ります。

### ご参考

- お使いのコンピューターやビデオカードによっては、パワーマネージメント機能が働かないことがあります。
- 映像信号が途絶えると、設定した時間の経過後ディスプレイは自動的にオフになります。
- 本機の電源オンおよびスタンバイ状態へ移行するまでのスケジュールを設定することができます。[35 ページ](#)を参照ください。
- パワーマネージメント機能に関しては「保護設定」→「パワーセーブ設定」を参照ください。

# 基本的な操作



- ・ 説明のないボタンは動作しません。
- ・ 一部のボタンは HDMI-CEC 機器の操作に使用します (CEC(Consumer Electronics Control))。「CEC」の設定により対応するボタンは異なります。61 ページを参照ください。

## ① POWER ON/STANDBY

POWER ON ボタンで電源をオンにします。  
STANDBY ボタンでディスプレイをスタンバイ状態にします。  
19 ページ。

## ② 入力切替ボタン

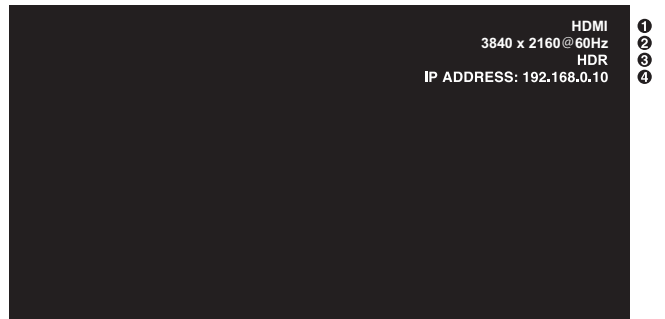
入力信号を選択します。  
入力信号の名称は工場出荷時のものです。

## ③ 数字入力ボタン

パスワードやリモコン ID の番号入力に使用します。  
40 ページ。  
一部の数字ボタンを本機に接続した HDMI-CEC 機器の操作に使用します。  
- ボタンは “. (ドット)”、ENT ボタンはバックスペースになります。

## ④ DISPLAY

画面情報を表示します。



- ① 入力名称
- ② 解像度情報
- ③ HDR 情報
- ④ IP アドレス \*

\* [IP 情報] が「オン」の場合：  
緑表示 - LAN 接続時  
赤表示 - LAN 非接続時

OSD メニューの「保護設定」→「ロック設定」で「IR」をロックした場合、DISPLAY ボタンを 5 秒以上押し続けるとロックを解除できます。38 ページ。

## ⑤ MENU

OSD 画面をオン / オフします。24 ページ。

## ⑥ EXIT

ひとつ前の OSD 画面に戻ります。

## ⑦ ▲/▼ (アップ/ダウン)

OSD 画面の調節項目の選択に使用します。

## ⑧ ◀/▶ (左・マイナス / 右・プラス)

OSD 画面で選択した項目の調節、設定値の調節に使用します。

## ⑨ SET

OSD 画面で調節した内容を決定します。

## ⑩ INPUT

入力切替メニューを表示します。  
入力信号の名称は工場出荷時のものです。

## ⑪ HOME

本機のシステムメイン画面を表示します。

## ⑫ VOL + / - (音量調節)

音量の大 / 小を調節します。

### 13 BACKLIGHT +/-(明るさ調整)

+や-で明るさを調節します。

### 14 MUTE

音声や映像の出力をとめます。

もう一度押すと音声や映像を出力します。詳細は「[ミュート設定](#)」(67 ページ)を参照ください。

### 15 PICTURE MODE

ピクチャーモードを選択します。「標準」、「店舗」、「会議室」、「高輝度」、「交通機関」、「CUSTOM」から選択できます。57 ページ。

ピクチャーモード	目的
標準	標準の映像設定
店舗	サイネージ、ブランディングに適した映像設定
会議室	テレビ会議等に適した映像設定
高輝度	外光の明るい環境に適した映像設定
交通機関	公共施設等の設置に適した映像設定
CUSTOM	任意の設定

#### ご参考

- OSDメニューの「ピクチャーモード」で設定した内容は、現在選択されている「入力」に対し保存されます。

### 16 ASPECT

画像のアスペクトを「標準」、「フル」、「ワイド」、「1:1」、「ズーム」から選択します。23 ページ。

### 17 REMOTE ID

リモコンのモードを切り替えます。40 ページ。

ノーマルモード： モニター ID の設定に関係なく、ディスプレイをリモコン制御できます。

ID モード： リモコン ID と同じ番号のモニター ID を持つディスプレイのみをリモコンで制御できます。

SET ボタン： 2 秒以上押し続けると、リモコンを ID モードにします。  
ボタンを押しながら 0 ~ 100 までの数字を入力すると、リモコン ID が設定できます。

CLEAR ボタン： 2 秒以上押し続けると、ノーマルモードになります。

### 18 IMAGE FLIP

入力端子が「HOME」のとき、OSDメニューと画像の表示方向を回転します。

「ポートレート」、「180°回転」、「ランドスケープ」の順に切り替わります。68 ページを参照ください。

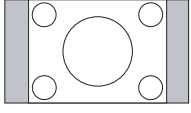
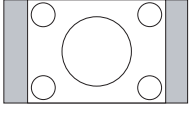
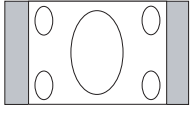
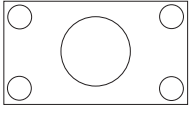
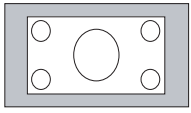
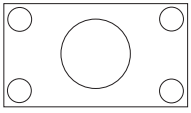
### 19 GUIDE

「端末情報」を表示します。69 ページ。

## ■ アスペクト変更について

OSD メニューの「映像設定」 → 「アドバンスト」 → 「アスペクト」 またはリモコンの ASPECT ボタンで画面のアスペクトを選択することができます。

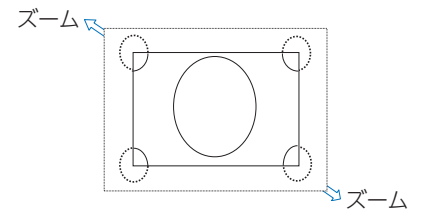
「フル」 → 「ワイド」 → 「1:1」 → 「ズーム」 → 「標準」

画面のアスペクト	変更前 * <sup>3</sup>	推奨されるアスペクト設定 * <sup>2</sup>	説明	
4:3		「標準」		比率を変えずに、できるだけ大きく表示します。
スクイーズ		「フル」		比率を変えて、画面いっぱいに表示します。
レターボックス		「ワイド」		16:9 レターボックス信号を画面いっぱいに表示します。

\*<sup>3</sup>: 図の灰色の部分は画像表示に使用されない領域です。

「1:1」: 画像サイズそのままに表示します。

「ズーム」: 画像は、画面の有効表示領域を超えて拡大されます。有効表示領域を超えた部分は見ることができません。



### ご参考

- もとの信号と異なる画面のアスペクトで使用したいときは画面に歪みが発生します。  
例) 4:3 信号をフルにした場合は横長画面となります。

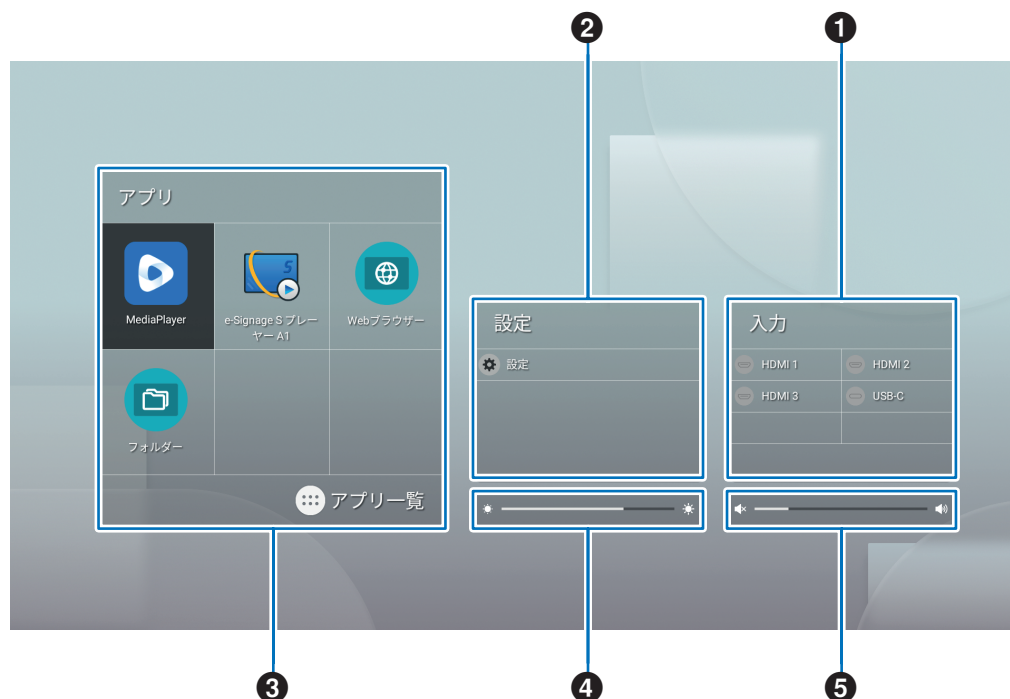
### ご注意

- 営利目的または公衆に視聴されることを目的として喫茶店、ホテルなどにおいてアスペクト変更等を利用して画面を圧縮したり引き伸ばすと著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがありますのでご注意願います。

# メニュー画面について

## ホーム画面

リモコンの HOME ボタンを押すと表示されます。




- ① 入力モードを変更します。

入力モード	映像	音声
HOME	HOME	HOME
HDMI 1	HDMI 1 入力端子	HDMI 1 入力端子
HDMI 2	HDMI 2 入力端子	HDMI 2 入力端子
HDMI 3	HDMI 3 入力端子	HDMI 3 入力端子
USB-C	USB Type-C 端子	USB Type-C 端子

接続されていない端子のアイコンはグレーアウトします。

- ② 各種設定をおこないます。

 「一般設定メニュー」(57 ページ) や「管理者設定メニュー」(60 ページ) を表示します。映像・音声などの調整をおこないます。

### ご参考

- メニューなどの表示中に、主電源スイッチを「切」にしないでください。設定内容が初期化される場合があります。

1. メニューを選び、各項目を調節する。(57ページ)

2. 調節が終わったら、リモコンの EXIT ボタンを押す。

### ご参考

- リモコンの MENU ボタンを押すと、ホーム画面上に設定メニューが表示されます。ホーム画面に戻る場合は、リモコンの EXIT ボタンを押して設定メニューを閉じてください。





「管理者設定メニュー」(60 ページ) を表示します。本機の設定をおこないます。

#### ご参考

• メニューなどの表示中に、主電源スイッチを「切」にしないでください。設定内容が初期化される場合があります。

#### 1. ホーム画面で「設定」を選択し、リモコンのSETボタンを押す。または、リモコンのMENU ボタンを押す。

一般設定メニューが表示されます。

#### 2. 「管理者設定」を選択し、リモコンのSETボタンを押す(60ページ)。

管理者設定メニューが表示されます。

#### 3. 各項目を設定する。

#### 4. 設定が終わったら、リモコンのEXITボタンを押す。

#### ご参考

• リモコンの MENU ボタンを押すと、ホーム画面上に設定メニュー画面が表示されます。設定メニューから「管理者設定」に入ります。ホーム画面に戻る場合は、リモコンの EXIT ボタンを押して設定メニュー画面を閉じてください。

### 3 選択したアプリケーションを起動します。



「MediaPlayer」を起動します。(30 ページ)



e-Signage S プレーヤー A1 を起動します。e-Signage S(別売) から配信されるサイネージ番組を表示します。詳しくは e-Signage S 取扱説明書をご確認ください。



「Web ブラウザー」を起動します。(28 ページ)



「フォルダー」を起動します。(26 ページ)



アプリケーションの一覧を表示します。



「Updater」を表示します。(29 ページ)

#### ご参考

• アプリケーションの初回起動時にアクセス許可の確認画面が表示された場合は、「許可」を選んでください。

### 4 明るさを調節します。

### 5 音量を調節します。

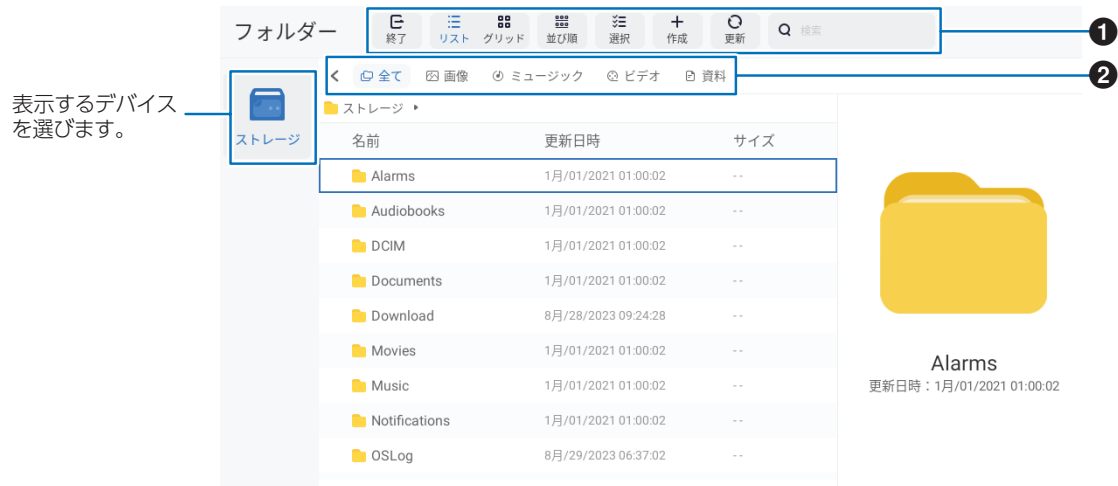
# アプリケーション - フォルダー

内蔵メモリーや本機に接続された USB メモリー内にあるファイルやフォルダーを管理します。  
また、ファイルを表示したり再生することができます。

ホーム画面で「フォルダー」 を選択し、リモコンの SET ボタンを押す。

## ご参考

- 本機の USB 端子にキーボードやマウスを接続すると操作しやすくなります。



## ① 終了

「フォルダー」画面を閉じます。

### リスト/グリッド

ファイルやフォルダーをリスト、グリッド（アイコン）で表示します。

### 並び順

ファイルやフォルダーを名前や種類、大きさ、更新日で並べ替えます。

### 選択

任意のファイルやフォルダーを選択し、確定します。

### 作成

新規フォルダーを作成します。

### 更新

ファイルやフォルダーのリスト表示を更新します。

### 検索

ファイルやフォルダ名などを入力して検索します。

## ② 全て

ファイルやフォルダーをすべて表示します。

### 画像

静止画ファイルを表示します。

### ミュージック

音声や音楽ファイルを表示します。

### ビデオ

動画ファイルを表示します。

### 資料

ドキュメントファイルを表示します。

## ■ 新規フォルダーを作成する

### 1. 「新規」を選択する。

フォルダー名入力のダイアログが表示されます。

### 2. 画面に表示されるキーボードまたは本機に接続したキーボードを使用し、フォルダー名を入力する。

- ・ 半角最大255 文字まで。

### 3. 入力が終わったら、「OK」を選択する。

## ■ コピーする／移動する

### 1. コピー/移動したいファイル/フォルダーを表示する。

### 2. 「選択」を押し、コピー/移動したいファイル/フォルダーにカーソルを合わせ、リモコンのSETボタンを押してチェックを付ける。

- ・ 複数のファイル/フォルダーを選択することもできます。  
「すべて選択」でファイル/フォルダーをすべて選択することができます。

### 3. 「コピー」または「カット」を押す。

### 4. コピーまたは移動先のファイル一覧を表示する。

### 5. 「ペースト」をタッチする。

ファイル/フォルダーがコピー/移動されます。

## ■ 削除する

### 1. 削除したいファイル/フォルダーを表示する。

### 2. 「選択」を押し、削除したいファイル/フォルダーにカーソルを合わせ、リモコンのSETボタンを押してチェックを付ける。

- ・ 複数のファイル/フォルダーを選択することもできます。  
「すべて選択」でファイル/フォルダーをすべて選択することができます。

### 3. 「削除」を押す。

確認の画面が表示されます。

### 4. 「OK」を押す。

## ■ 名前を変える

### 1. 名前を変えたいファイル/フォルダーを表示する。

### 2. 「選択」を押し、名前を変えたいファイル/フォルダーにカーソルを合わせ、リモコンのSETボタンを押してチェックを付ける。

### 3. 「名称変更」をタッチする。

### 4. 新しい名前を入力し、「OK」を押す。

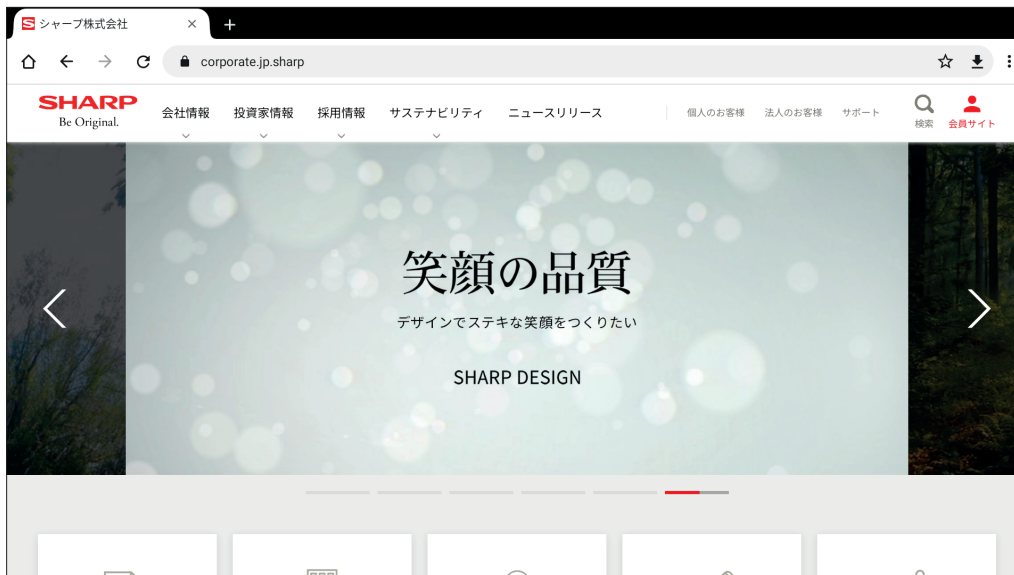
## ■ 終了する

### 1. 「終了」を押す。

# アプリケーション - Web ブラウザー

ホームページを閲覧します。

ホーム画面で「Web ブラウザー」を選択し、リモコンのSETボタンを押す。



## 終了する

リモコンのEXITボタンを押します。

## ご参考

- リモコンのMENUボタンを3秒以上押すと、画面上に仮想マウスが表示されます。仮想マウスはリモコンの▲/▼/◀/▶ボタンで動きます。選択した項目を確定する場合はSETボタンを押します。
- サイズの大きいホームページを表示すると、Webブラウザが終了する場合があります。
- 正しく動作しない場合は、日付、時刻が正しく設定されているか確認してください。

## ご注意

- ホームページ閲覧には十分に注意してください。  
悪意のあるホームページでは、入力内容が盗み取られたり、不正なアプリがダウンロードされたりします。  
不正なアプリをインストールすると、ウィルスの感染や通信内容を盗み見られる可能性があります。
- ログインして使用するホームページでは、必ずログアウトしてください。  
ログインしたままだと、IDなどの個人情報が、第三者に知られる可能性があります。

# アプリケーション - Updater

出荷時搭載されているアプリケーションをアップデートします。(インターネットにアクセスできるネットワーク環境が必要です。)ホーム画面で「アプリ一覧」を選択しリモコンのSET ボタンを押します。一覧から「Updater」を選択し、リモコンのSET ボタンを押します。

「ソフトウェア使用許諾」が表示されます。「OK」を選んでください。

Updater で配布されるソフトウェアを使用するには、「ソフトウェア使用許諾」に同意していただく必要があります。



## 1 情報表示領域

ダウンロード済みやダウンロード可能なソフトウェアの情報を表示します。

更新通知:「新しいバージョンを通知」に設定されている場合、表示されます。チェックを外すと、そのソフトウェアは通知されません。

## 2 再取得

情報表示領域を最新の情報に更新します。

## 3 ダウンロード

選択したソフトウェアをダウンロードします。

## 4 インストール

選択したソフトウェアをインストールします。

## 5 設定

Updater に関する設定をおこないます。

- 更新済みの項目を隠す ..... 更新済みのソフトウェアを情報表示領域に表示するかどうか設定します。
- 新しいバージョンを通知..... ソフトウェアが更新された場合、メッセージを表示するかどうか設定します。
- 自動更新 ..... ソフトウェアを自動で更新するかどうかを設定します。
- 自動更新日..... 「自動更新」がオンのとき、ソフトウェアを自動で更新する曜日を設定します。
- 自動更新時刻..... 「自動更新」がオンのとき、ソフトウェアを自動で更新する時刻を設定します。
- プロキシ ..... 本機をプロキシ環境で使用するかどうか設定します。
- プロキシ設定 ..... 「プロキシ」がオンのとき、プロキシのホスト名、ポート、ユーザー名、パスワードを設定します。
- Updater について ..... 本アプリケーションの情報を表示します。
- リセット ..... 本アプリケーションの設定を初期化します。

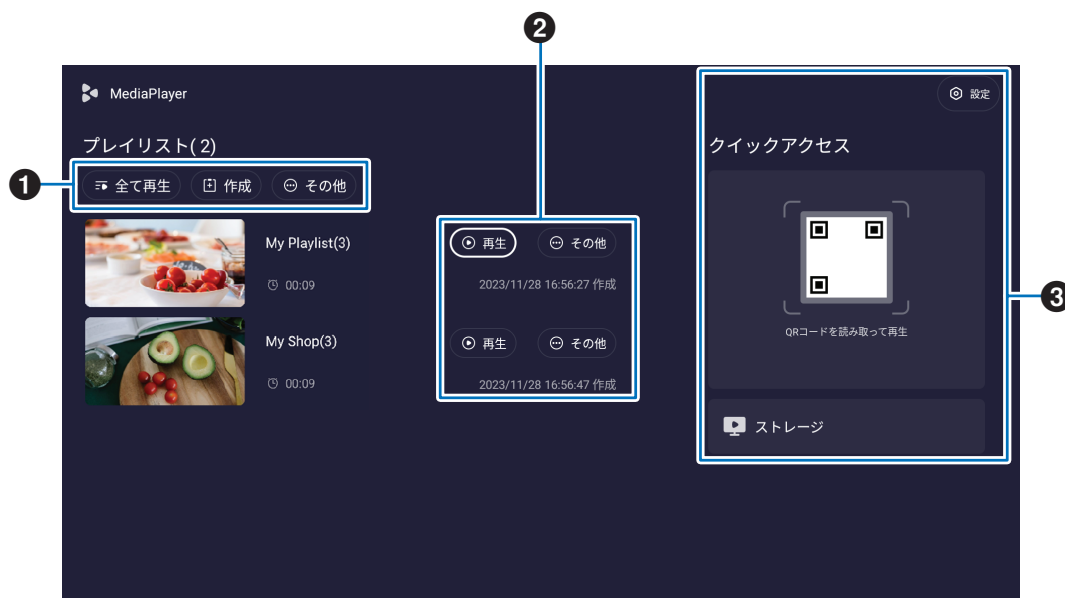
## ご参考

- 「e-Signage S プレーヤー A1」を使用しているときは、ソフトウェアのインストールの前に、「e-Signage S プレーヤー A1」を終了させてください。e-Signage S プレーヤー A1 のサイネージ再生画面でリモコンのEXIT ボタンを2回押して「設定」画面を表示し、「プレーヤー終了」を選びます。また、「自動更新」は使用しないでください。

# アプリケーション - MediaPlayer

複数の静止画、動画、音声ファイルで構成するプレイリストを作成したり、再生します。  
ホーム画面で「MediaPlayer」を選択し、リモコンのSETボタンを押すと起動します。

**ホーム画面で「MediaPlayer」を選択し、リモコンのSETボタンを押す。**



## ① 全て再生

すべてのプレイリストを上から順番に繰り返し再生します。

### 作成

プレイリストを新規に作成します。

### その他

すべてのプレイリストの削除など、他の機能を表示します。

## ② 再生

左側に表示されているプレイリストを再生します。

### その他

他の機能を表示します。

- 詳細を入力.....プレイリストの詳細画面を表示します。(32ページ)
- 削除.....プレイリストを削除します。
- 名称変更.....プレイリストの名前を変更します。
- 上に/下に.....選択したプレイリストの順番を移動します。
- USBに書き出す.....選択したプレイリストをUSBメモリーの“MediaPlayList”フォルダーにコピーします。

### ご参考

- “MediaPlayList”フォルダーにあるファイルは上書きされます。

## ③ 設定

MediaPlayer に関する設定をします。(32 ページ)

### クイックアクセス

- QRコード.....QRコードをスマートフォン等で読み取り、プレイリストを編集します。(33ページ)
- ストレージ.....内蔵ストレージや接続したUSBメモリーの内容を表示します。(33ページ)

## ■ プレイリストを作成する

1. トップ画面で「作成」を選択する。プレイリストがない場合は「マイプレイリストの作成」を選択し、リモコンのSETボタンを押す。
2. 画面に表示されるキーボードまたは本機に接続したキーボードを使って、プレイリストの名前を入力する。
3. プレイリストの詳細画面の「ファイルの追加」を選択し、リモコンのSETボタンを押す。
4. 「選択」を押してからカーソルを移動し、プレイリストに追加したいファイルでリモコンのSETボタンを押してチェックを付ける。
5. 「確認」を選択し、リモコンのSETボタンを押す。

## ■ プレイリストを再生する

- すべてのプレイリストを再生する場合は「全て再生」を押します。  
特定のプレイリストを再生する場合は、再生したいプレイリストにカーソルを移動し、リモコンのSETボタンを押します。
- リモコンのEXITボタンを押すと、再生を停止し、プレイリストの詳細画面が閉じます。

## ■ 再生画面

プレイリストは全画面で再生されます。再生中にリモコンのSETボタンを押すと、画面下部にコントロールボタンが表示されます。再生を止めるときはリモコンのEXITボタンを押します。



ファイルの一覧を表示します。再生するファイルを選択します。



画像をディスプレイの壁紙に設定します。(静止画ファイルを再生している場合のみ)



/リモコン7ボタン..... 5秒前に戻します。(動画と音声ファイルを再生している場合のみ)



/リモコン1ボタン..... ひとつ前のファイルを再生します。



/リモコン2ボタン.... ファイルを再生します。



/リモコン6ボタン.... 再生を一時停止します。



/リモコン3ボタン.... ひとつ次のファイルを再生します。



/リモコン9ボタン..... 5秒先に進めます。(動画と音声ファイルを再生している場合のみ)



繰り返しパターンを変更します。



繰り返しません。



プレイリスト全体を繰り返します。



現在再生しているファイルを繰り返します。

## ■ 詳細画面でプレイリストを編集する



- 1** **全て再生**.....すべてのファイルを上から順番に再生します。  
**再生モード**.....繰り返しパターンや静止画の再生間隔を設定します。  
**ファイルの追加**.....プレイリストにファイルを追加します。  
**選択**.....プレイリストの中のファイルを選択したり、選択したファイルを削除します。  
**名称変更**.....プレイリストの名前を変更します。  
**USBに書き出す**.....USBメモリーの中の“MediaPlayList”フォルダーにプレイリストをコピーします。

### ご参考

- “MediaPlayList”フォルダーに保存されているファイルは上書きされます。
- USBメモリーと内蔵ストレージ間のコピーは時間がかかる場合があります。コピー中は電源を切ったり、スタンバイ状態にならないようにしてください。自動的に状態が切り替わらないように「電源オフスケジュール」や「無操作オフ」を確認してください。

- 2** **再生**.....プレイリストの中のファイルを順番に再生します。  
**その他**.....プレイリストの順番を移動したり、削除します。

## ■ 再生を設定する

自動再生や再生スケジュールを設定します。

**USB 自動再生**.....USBメモリーを接続したとき、USBメモリー内のすべてのファイルを内蔵ストレージに自動的にコピーして再生を開始するかしないかを設定します。

### ご参考

- USBメモリー内に“MediaPlayList”フォルダーがある場合、“MediaPlayList”のファイルは内蔵ストレージに新規プレイリストとして自動的にコピーされ、再生が始まります。この動作は変更できません。
- USBメモリーと内蔵ストレージ間のコピーは時間がかかる場合があります。コピー中は電源を切ったり、スタンバイ状態にならないようにしてください。自動的に状態が切り替わらないように「電源オフスケジュール」や「無操作オフ」を確認してください。

**スケジュール再生**.....指定した曜日、時間に指定したプレイリストを再生するスケジュールを設定します。

**電源 ON 自動再生**.....本機の電源がオンになると、自動的にプレイリストを再生します。

**QRコード**.....MediaPlayerのトップ画面にQRコードを表示します。

**端子変更自動再生**.....リモコンのMEDIA PLAYERボタンを押すと、自動的にプレイリストを順番に再生します。



## ■ ストレージ画面について

内蔵ストレージや USB メモリーの内容を表示します。ストレージの表示から、直接再生したりプレイリストを作成できます。



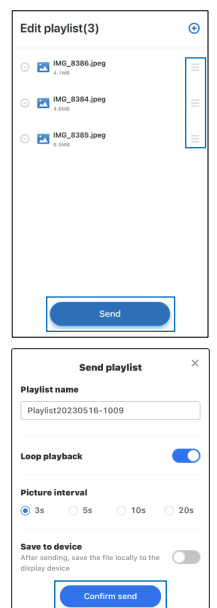
- 全て再生**.....すべてのファイルを上から順番に再生します。
- 選択**.....再生したり、プレイリストにするファイルを選択します。既存のプレイリストに追加することも、新規のプレイリストとして作ることもできます。
- 検索**.....キーワードを入力してファイルやフォルダーを検索します。
- リスト／グリッド**.....ファイルやフォルダーをリスト、グリッド（アイコン）で表示します。
- 並び順**.....ファイルやフォルダーを名前や種類、大きさ、更新日で並べ替えます。
- 更新**.....ファイルやフォルダーのリスト表示を更新します。

## ■ QRコードについて

トップ画面に表示された QR コードを読み取ると、スマートフォン等でプレイリストが編集できます。

### ご参考

- インターネットに接続する必要があります。
- 1. QRコードをスマートフォンで読み取る。**
- 2. スマートフォンの画面に表示された+ボタンをタップする。**
- 3. 「Edit playlist」画面で、ファイルの追加や削除など編集する。**  
順番を変えるときは、右側のボタンをドラッグして入れ替えます。  
編集が完了したら **Send** をタップします。
- 4. 「Send playlist」画面が表示されるので、それぞれの内容を設定する。**  
**確認が完了したら Confirm send をタップする。**  
**Playlist name**.....プレイリストの名前を編集します。  
**Loop playback**.....プレイリストの繰り返し再生を設定します。  
**Picture interval**.....静止画の表示時間(秒数)を選択します。  
**Save to device**.....有効にすると、本機の内蔵ストレージにプレイリストを保存します。
- 5. 送信が完了すると、スマートフォンで編集したプレイリストの再生が始まる。**



### ご注意

- 本機能の利用にはインターネット接続環境が必要です。
- ネットワークサービスのメンテナンス、停止、変更等により、本機能の利用に遅延が発生したり、本機能を利用できない場合があります。予めご了承ください。
- シャープ株式会社ならびにシャープ NEC ディスプレイソリューションズ株式会社およびその関係会社は、本機能のご利用、もしくはご利用になれないことにより何らかの損害が発生した場合も、何ら責任を負うものではありません。

## 静止画ファイル

拡張子	最大解像度
*.bmp	7680x4320
*.jpg (*.jpeg)	
*.png	

## ご参考

- 静止画は解像度 1920 x 1080 で表示されます。

## 音声ファイル

拡張子	音声コーデック	サンプルレート	ビットレート
*.mp3	MPEG1/2 layer3	8 k ~ 48 kHz	8 k ~ 320 kbps

## 動画ファイル

拡張子	動画コーデック	音声コーデック	最大解像度	最大ビットレート
*.mkv	H.264	Mpeg1/2 Layer1/2/3, AAC-LC	4096x2160@60 fps	135 Mbps
	Mpeg-4		1920x1080@60 fps	40 Mbps
*.mp4	H.265	Mpeg1/2 Layer1/2/3, AAC-LC	4096x2160@60 fps	200 Mbps
	H.264		4096x2160@60 fps	135 Mbps
	Mpeg-4		1920x1080@60 fps	40 Mbps

上記ファイルでも再生できない場合があります。

## ファイルシステム

ファイルシステム	リード/ライト
FAT32	リード/ライト
NTFS	リード

# 便利な機能

## 電源スケジュールと再起動スケジュール

スケジュール機能により、再起動や本機の電源オンとスタンバイ状態を任意の時刻に切り替えることができます。

### ■ スケジュールの作成

#### 1. OSDメニューの「スケジュール」を表示する。

- ① リモコンの MENU ボタンを押します。
- ② リモコンの ▼、▶ ボタンで「管理者設定メニュー」の「スケジュール」を選択し、SET ボタンを押します。パスワードの入力画面が表示された場合は、設定したパスワードを入力します。

#### 2. 指定の時刻に電源を入れる場合は、「電源オンスケジュール」を設定する。

- ① リモコンの ▶、▲、▼ ボタンで「電源オンスケジュール」の「電源オンスケジュールを追加」を選択し、SET ボタンを押します。
- ② リモコンの ▲、▼ ボタンで時間を設定します。設定項目は ◀、▶ ボタンで移動できます。
- ③ 「入力」で指定した時刻に表示する入力信号を設定します。
- ④ 実施する曜日を選択し、リモコンの SET ボタンを押します。
- ⑤ リモコンの ▼、▶ ボタンで「SAVE」を選択し、SET ボタンを押します。

#### 3. 指定の時刻に電源を切る場合は、「電源オフスケジュール」を設定する。

- ① リモコンの ▶、▲、▼ ボタンで「電源オフスケジュール」の「電源オフスケジュールを追加」を選択し、SET ボタンを押します。
- ② リモコンの ▲、▼ ボタンで時間を設定します。設定項目は ◀、▶ ボタンで移動できます。
- ③ 実施する曜日を選択し、リモコンの SET ボタンを押します。
- ④ リモコンの ▼、▶ ボタンで「SAVE」を選択し、SET ボタンを押します。

#### 4. 指定の時刻に再起動する場合は、「再起動スケジュール」を設定する。

- ① リモコンの ▶、▲、▼ ボタンで「再起動スケジュール」の「再起動スケジュールを追加」を選択し、SET ボタンを押します。
- ② リモコンの ▲、▼ ボタンで時間を設定します。設定項目は ◀、▶ ボタンで移動できます。
- ③ 実施する曜日を選択し、リモコンの SET ボタンを押します。
- ④ リモコンの ▼、▶ ボタンで「SAVE」を選択し、SET ボタンを押します。

#### 5. 設定したスケジュールをリスト表示で管理する。

- ① リモコンの ▶、▲、▼ ボタンで「スケジュール」の「スケジュールリスト」を選択し、SET ボタンを押します。
- ② リモコンの ▲、▼ ボタンで変更したいスケジュールを選択します。◀、▶ ボタンで有効、無効が切り替わります。時刻などを変更したり、スケジュールを削除したい場合は、SET ボタンを押して詳細画面を開いて変更します。
- ③ リモコンの EXIT ボタンを押して画面を閉じます。



### ご参考

- ・ 「入力切替」の「Custom Detect」が設定されている場合、優先される入力信号は「電源オンスケジュール」の「入力」になります。
- ・ 「スケジュール」を設定する前に、必ず「日付／時刻設定」で現在の日付を設定してください。
- ・ 「保存」でリモコンの SET ボタンを押すと設定した値が保存されます。
- ・ 各スケジュールは、5分以上間隔をあけて設定する必要があります。
- ・ スケジュールは15件まで登録できます。
- ・ 安定して動作させるため、1日に1回Androidシステムの再起動が必要です。

## セキュリティ設定とボタン操作のロック

通常、ディスプレイはリモコンや本体コントロールパネルのボタンを使って誰でも操作できます。セキュリティを設定し、ロックをかけることで、権限を持たない人による本機の使用や設定の変更を禁止することができます。

以下のセキュリティ機能、ロック機能を説明します。

- パスワードの設定
- パスワードによるセキュリティ
- リモコンのボタン操作をロックする(21ページ)
- 本体のボタン操作をロックする(13ページ)

### 設定メニューの表示位置

ディスプレイの OSD メニューを使ってセキュリティとロックに関する設定方法を説明します。セキュリティとロックに関する設定は、ディスプレイの Web ページにより設定することもできます。Web ページを使った OSD メニュー操作 (45 ページ) を参照してください。

セキュリティとロックの設定は OSD メニューの「保護設定」または、Web ページの「PROTECT」で設定します。



### ■ パスワードによるセキュリティ

パスワードによるセキュリティを有効にすると、主電源をオンにするときや OSD メニューを表示するときに 4 桁のパスワード入力が必要になります。パスワードを入力すると、本機を通常どおりに使用できます。「OSD 時間」で設定された時間パスワードの入力が無いと、本機は自動的に SECURE MODE に入り、再度パスワード入力が必要になります。

#### ご参考

- パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを記録し安全な場所に保管してください。パスワードを忘れてしまった場合は、ロックを解除するためのパスワードが必要になります。パスワードについては販売店にお問い合わせください。

## 本機のパスワードを設定する

必要に応じてパスワードを設定します。



1. OSDメニューの「保護設定」→「セキュリティー設定」→「パスワード」を選択する。
2. 管理者パスワードを入力し「OK」を押す。  
「セキュリティー設定」の各項目が設定できるようになります。
3. パスワードを変更する場合は、「管理者パスワードの変更」を押し、「現在のパスワード」に現在のパスワードを入力する。
4. 「新しいパスワード」に新しいパスワードを入力し、「パスワードの確認」にもう一度新しいパスワードを入力する。
5. 新しいパスワードが保存される。

### パスワードによるセキュリティーを有効にする

1. OSDメニューの「保護設定」→「セキュリティー設定」を選択する。
2. 「SECURE MODE」の種類を選択する。
  - 管理者設定ロック ... 「管理者設定」や「Updater」を使用するときにパスワードが要求されます。
  - Start-Up Lock..... 主電源をオンにするときにパスワードが要求されます。  
主電源スイッチの操作時や停電後の電源再投入時にのみパスワードが要求されます。リモコンや本体後面の POWER ボタンによる電源オン時、スタンバイ移行時はパスワードは要求されません。
  - Control Lock ..... リモコンや本体のボタンを押したときにパスワードが要求されます。

### ご参考

- OSD 画面を閉じ「OSD 時間」で設定された時間が経過すると、設定が有効になります。

## ■ ボタン操作のロック

リモコンや本体後面のボタンを操作しても本機が動作しないようロックすることができます。設定の変更に必要なボタンにはロックをかけないようにすることもできます。ボタン操作のロックやロック解除時のパスワードは不要です。

## ■ リモコンのボタン操作をロックする

### リモコンボタンのロック

「ロック設定」により、リモコンのボタンによる本機の操作をロックします。「IR」を選択した場合、本体後面のボタン操作をロックすることはできません。



1. OSDメニューの「保護設定」→「ロック設定」→「選択」→「IR」を選択する。

2. 「モード」でロックの有効範囲を選択する。

- Unlock ..... すべてのボタンが有効になります。
- All Lock..... すべてのボタンをロックします。
- Custom Lock..... 以下のボタンは個別にロック設定をし、それ以外のボタンをすべてロックします。
  - 電源 ..... リモコンのボタンをロックしても、「Unlocked」を選択するとリモコンの POWER ボタンは動作します。「Locked」を選択するとリモコンの POWER ボタンはロックされます。
  - 音量 ..... リモコンのボタンをロックしても、「Unlocked」を選択するとVOL+、VOL-ボタンで音量調節が可能になります。「Locked」を選択すると音量調節はできません。
  - 最小音量設定/  
最大音量設定 ..... 音量調節ボタンが動作し、設定された最低音量と最大音量の範囲内で音量の調節ができます。「音量」は「Unlocked」に設定しておいてください。

#### ご参考

- 「オーディオレシーバー」が「有効にする」の場合、本機能は動作しません。
- 入力 ..... 「Unlocked」を選択すると入力切替ボタン、INPUTボタンが動作します。入力切替ボタン、INPUTボタンをロックするときは「Locked」を選択します。

3. 「実行」を選択する。

「実行」を押すと設定が反映されます。

### リモコンのボタン操作のロックを解除する

ロックを解除して通常のボタン動作に戻すには、DISPLAY ボタンを5秒以上押してください。

## ■ 本体のボタン操作をロックする

### 本体ボタンのロック

「ロック設定」により、本体後面のボタンによる本機の操作をロックします。「Key」を選択した場合、リモコンのボタン操作をロックすることはできません。



1. OSDメニューの「保護設定」→「ロック設定」→「選択」→「Key」を選択する。

2. 「モード」でロックの有効範囲を選択する。

- Unlock ..... すべてのボタンが有効になります。
- All Lock..... すべてのボタンをロックします。
- Custom Lock..... 以下のボタンは個別にロックの設定をし、それ以外のボタンをすべてロックします。
  - 電源 ..... ボタンをロックしても、「Unlocked」を選択すると本体の POWER ボタンは動作します。
  - 音量 ..... ボタンをロックしても、「Unlocked」を選択すると </> キーで音量調節が可能になります。「Locked」を選択すると音量調節はできません。
    - 最小音量設定/  
最大音量設定 ..... </> キーが動作し、設定された最低音量と最大音量の範囲内で音量の調節ができます。「音量」は「Unlocked」に設定しておいてください。

#### ご参考

- 「オーディオレシーバー」が「有効にする」の場合、本機能は動作しません。
- 入力 ..... 「Unlocked」を選択するとINPUTボタンで入力の切り替えが可能になります。

3. 「実行」を選択する。

「実行」を押すと設定が反映されます。

### 本体ボタンのロック解除

**本体のボタン** ..... ロックを解除して通常のボタン動作に戻すには、本体後面の ▲ ボタンと ▼ ボタンを同時に 3 秒以上押し、すべての本体後面のボタンのロックを解除できます。

**OSD メニュー** ..... ロックを解除して通常の動作に戻すには、OSDメニューの「保護設定」→「ロック設定」→「選択」で「Key」を選択します。次に「モード」→「Unlock」→「実行」を選択します。

## ■ リモコンボタンと本体ボタンの操作をロックする

1. OSDメニューの「保護設定」→「ロック設定」→「選択」→「Key & IR」を選択する。

以降の設定手順やロックが有効になるボタン、ロックの解除方法は「[リモコンのボタン操作をロックする](#)」と「[本体のボタン操作をロックする](#)」を参照ください。

# リモコンIDモード機能について

このリモコンには、モニター ID と同様の ID 番号を設定することができます。

複数台のディスプレイが並んだ場所で使用する場合、リモコンを ID モードで動作させ ID を切り替えることにより、ディスプレイを個別に操作することができます。

## ディスプレイ本体の設定

モニター ID で ID 番号を設定する。

## リモコンをIDモードにする

リモコンの REMOTE ID の SET ボタンを 2 秒以上押すとリモコンは ID モードで動作します。

このとき、ID 番号は以前に設定した ID 番号で動作します。ID 番号の初期値は 1 です。

また、リモコンの ID 番号を設定した場合も ID モードで動作します。

なお、ID モード時のリモコンのボタン操作は、通常と同じです。

リモコンが ID モードのときに REMOTE ID の SET ボタンを押すと、画面の中央にモニター ID が表示されます。

## リモコンをノーマルモードにする (IDモードを解除する)

リモコンの REMOTE ID の CLEAR ボタンを 2 秒以上押すとリモコンはノーマルモードに戻ります。

リモコンの初期状態はノーマルモードです。

## リモコンのID番号を設定する

下記の手順で ID モード時の ID 番号を設定することができます。

- リモコンの REMOTE ID の SET ボタンを押した状態で
  - ・ リモコンの“1”または“0”ボタンでID番号の3桁目を押す。
  - ・ リモコンの“1-9,0”ボタンでID番号の2桁目を押す。
  - ・ リモコンの“1-9,0”ボタンでID番号の1桁目を押す。

ID 番号を押した後、REMOTE ID の SET ボタンを放すと ID 番号が記憶されます。

- ・ ID番号入力は時間をあけずに操作してください。
- ・ 設定できるID番号は0～25までです。
- ・ 0を設定するとモニターIDの設定にかかわらずすべてのディスプレイが選択されます。
- ・ リモコンのID番号の設定が0以外で、リモコンのID番号がモニターIDの設定と一致しない場合は、リモコンでの操作はできません。

## リモコンで特定のディスプレイのみを制御する方法

1. 制御したいディスプレイでOSD画面を表示します。OSDメニュー「システム」→「外部制御」→「モニターID」でID番号を設定します。モニターIDは1～25まで設定することができます。先頭から、順番に1,2,3... と連続でIDを設定されることをおすすめします。
2. リモコンのREMOTE IDのSETボタンを押したまま、リモコンのID番号を入力します。リモコンのID番号は、制御したいディスプレイのモニターID番号と一致している必要があります。
3. リモコンを、制御したいディスプレイのリモコン受光部に向けて、REMOTE IDのSETボタンを押します。画面中央にモニターID番号が赤色で表示されることを確認してください。モニターID番号が白色で表示される場合は、モニターID番号とリモコンのID番号は一致していません。

## ご参考

- ・ リモコンではグループ ID を指定できません。



図1  
リモコンがノーマル（通常）モード、または ID 番号が 0 の場合

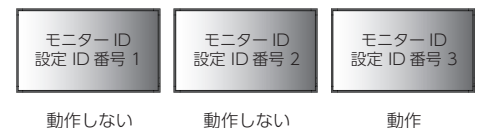


図2  
リモコンが ID モードで、ID 番号が 3 の場合



## マルチディスプレイ接続

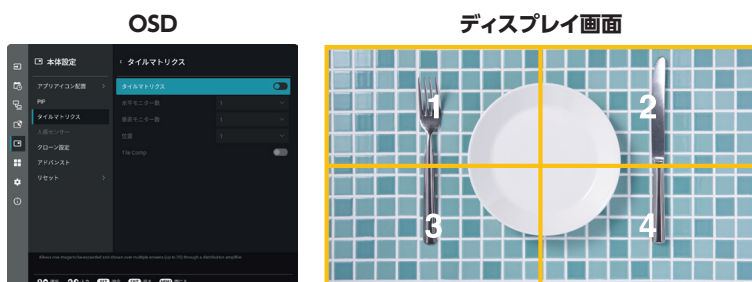
複数のディスプレイ (25 台まで) に、信号分配増幅器を介して単一画面を拡大表示します。「管理者設定メニュー」→「本体設定」→「タイルマトリクス」で、マルチスクリーンを構成するディスプレイの縦横の台数、位置、「Tile Comp」のオン/オフを設定します。

- ・ 「水平モニター数」.....水平分割数を設定します。
- ・ 「垂直モニター数」.....垂直分割数を設定します。
- ・ 「位置」.....現在のディスプレイで表示する部分を設定します。
- ・ 「Tile Comp」.....画面を複数のディスプレイに分割して表示する場合、より自然に見えるようにディスプレイのつなぎ目の表示方法を変更する機能です。

### 2x2 (縦横2台) の例

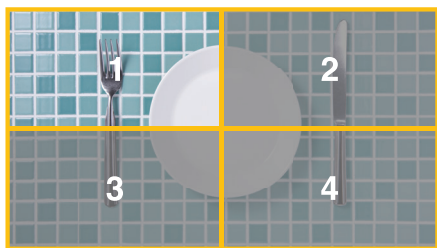
上部ディスプレイの設定

1. 「水平モニター数」→「2」、 「垂直モニター数」→「2」に設定する。  
ひとつの画像が4分割され、1～4の番号が割り振られます。



2. 「位置」で1～4のいずれかを選択する。

例: 「1」を選択した場合



# 外部制御

## 外部機器との接続方法

ディスプレイとコンピューターなどの外部機器との接続方法には、次の 2 つがあります。

- RS-232C 端子を使用した接続  
RS-232C 端子を使用して、ディスプレイとコンピューターを接続します。
- ネットワーク(LAN)経由での接続  
LAN ケーブルを使用して、ディスプレイとコンピューターを接続します。

## コンピューターで本機を制御する (RS-232C)

### ご注意

- リバースタイプ (クロスタイプ) の RS-232C ケーブル (市販) を使用してください。

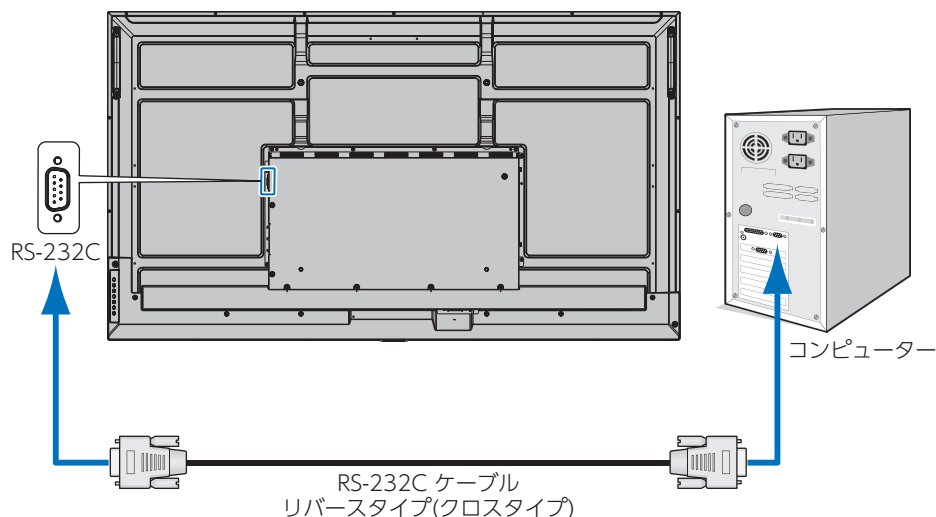
本機の RS-232C 端子とコンピューターの RS-232C 端子をリバースタイプ (クロスタイプ) の RS-232C ケーブル (市販) で接続するとコンピューターから次のような操作が可能になります。

- 電源を入れるまたは本機をスタンバイ状態にする
- 入力の切替
- ミュート(消音)の切替

### 接続方法

本機とコンピューター

- 接続はコンピューターと本機の主電源を切ってください。
- 最初にコンピューターを立ち上げてから本機の主電源を入れてください。(com ポートが正常に動作しない場合があります。)
- RS-232C で接続されたディスプレイを制御する場合は、本取扱説明書の「外部制御」内の「コマンド」もしくは Web サイトの External\_control\_J.pdf (「付録 A 外部のリソース」56ページ) を参照ください。



### ご参考

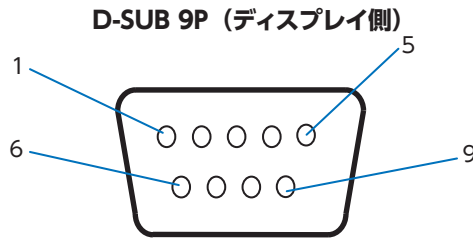
- コンピューターの 25 ピンシリアルポートと接続する場合は変換アダプターが必要です。変換アダプターについてはお買い上げの販売店へお問い合わせください。
- ピン配列については「RS-232C input/output」を参照してください (43 ページ)。

本機は RS-232C コントロール用として RXD、TXD および GND ラインを使用します。

## ピンの配列

RS-232C input / output

Pin No	Name
1	NC
2	RXD
3	TXD
4	NC
5	GND
6	NC
7	NC
8	NC
9	NC



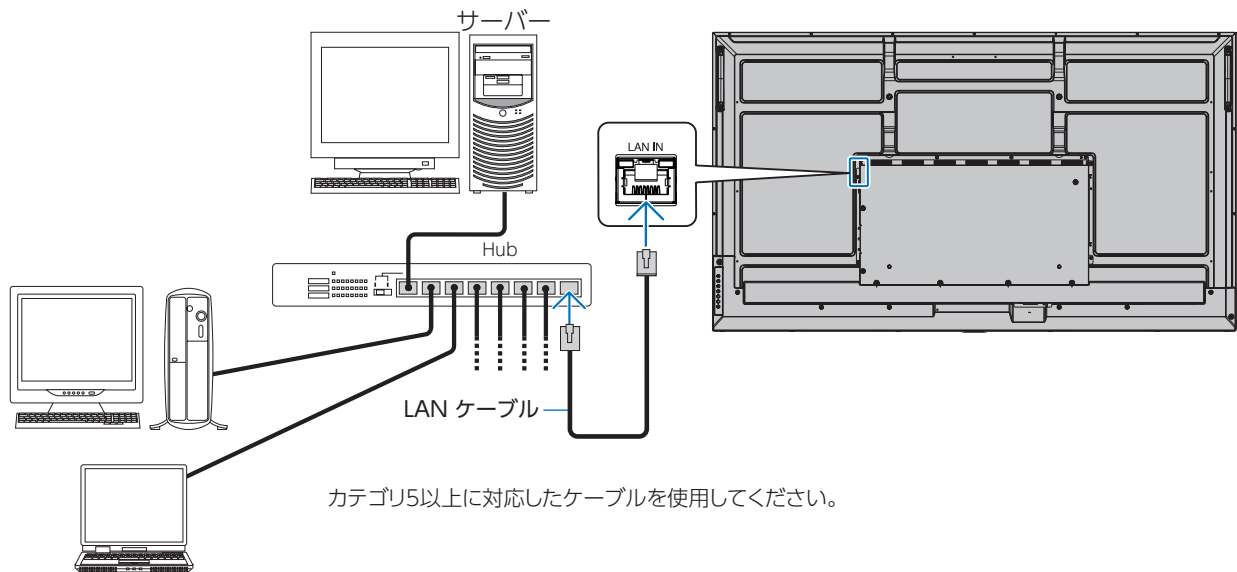
ディスプレイは RS-232C の制御に RXD、TXD、GND を使用します。

## コンピューターで本機を制御する (LAN)

本機には LAN ポート (RJ-45) が標準装備されています。本機をネットワークに接続すると、コンピューターからネットワークを経由して本機を制御することができます。本機を LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります (62 ページ)。

DHCP ネットワークに接続した場合自動的に本機の IP アドレスを取得します。

### 接続例



### ご参考

- 本機をネットワークに接続する必要があります。
- 管理者設定メニューの「ネットワーク」の「モニター制御」で「ネットワークディスプレイ制御」を有効にしてください。
- 「保護設定」の「パワーセーブ設定」の「モード」が「最大省電力」に設定されている場合、HTTP サーバーは動作しません。電源を切った状態で HTTP サーバー機能を使用する場合は、必ず「モード」を「通常省電力」に設定してください。

## ■ HTTPを使用したブラウザーによるネットワークの設定

### 概要

LAN ケーブル（市販）を接続すると HTTP サーバー機能を使って本機に LAN の設定ができます。

本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用できるようにブラウザーを設定してください。設定方法はブラウザーにより異なりますので、それぞれのソフトウェアにあるヘルプなどの説明を参照ください。

HTTP サーバー機能へのアクセスは、本機とネットワークで接続されたコンピューターで Web ブラウザーを起動し、以下の URL を入力することで可能となります。

### ネットワーク設定

http://〈本機の IP アドレス〉/index.html

### ご参考

- ・ コントロールソフトは、Web サイトからダウンロードしてください。（[56 ページ](#)）
- ・ 工場出荷時の IP アドレス取得の設定は「自動」です。リセット後も IP アドレスは自動的に取得されます。
- ・ ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。  
また続けてボタン操作するとディスプレイが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作をしてください。しばらく待っても応答が無い場合は、本機の主電源を入れなおしてください。
- ・ Web ブラウザーでネットワーク設定画面が表示されない場合は、[Ctrl] + [F5] キーを押して Web ブラウザーの画面表示を更新してください。それでも表示されない場合は Web ブラウザーのキャッシュを消去してください。
- ・ LAN で接続されたディスプレイを制御する場合は、Web サイトの External\_control\_J.pdf（「付録 A 外部のリソース」[56 ページ](#)）を参照ください。

### 使用前の準備

プロキシサーバーの種類や設定方法によっては、プロキシサーバーを経由したブラウザー操作ができないことがあります。プロキシサーバーの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ブラウザーから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバーはできるだけ使用しないことをおすすめします。

### ブラウザーによる操作のアドレスの扱い

以下の場合、ホスト名がそのまま利用できます。

- ・ ブラウザーによる操作に際しアドレスまたは URL 欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメインネームサーバーへ本機の IP アドレスに対するホスト名が登録されている。
- ・ 使用しているコンピューターの「HOSTS」ファイルに本機の IP アドレスに対するホスト名が設定されている。  
(例 1) 本機のホスト名が「pd.xxx.co.jp」と設定されている場合ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ http://pd.xxx.co.jp/index.html と指定します。  
(例 2) 本機の IP アドレスが「192.168.73.1」の場合ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ http://192.168.73.1/index.html と指定します。

### 初回使用時の設定

ENTER NEW HTTP PASSWORD 画面が表示されます。最大 32 文字までの英数字でパスワードを設定してください。

## ブラウザーによる画面調節

以下の URL を入力し HOME 画面を表示します。

HOME 画面左側にある各リンクをクリックして設定画面に入ります。

http://〈本機の IP アドレス〉/index.html

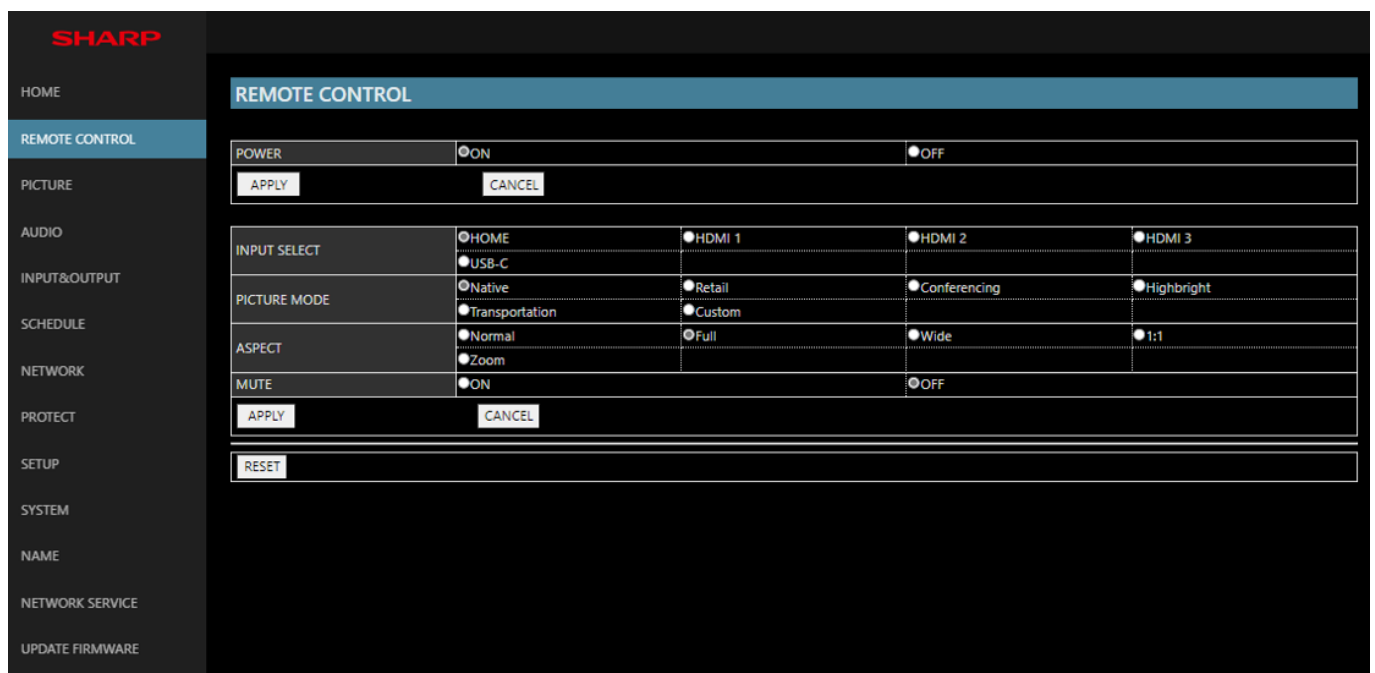
## ブラウザーによるリモコン操作

REMOTE CONTROL : リモコンボタンと同等の操作が可能です。

## ■ Webページを使ったOSDメニュー操作

以下のリンクでは OSD メニューにあるすべての機能と同等の設定ができます。

[Picture]、[Audio]、[Input & Output]、[Schedule]、[Network]、[Protect]、[Setup]、[Application]、[System]、[About]



### ご参考

- 設定画面に表示されるボタンの説明:

**[APPLY]** 設定を適用します。

**[CANCEL]** 各項目の設定を編集前の状態に戻します。

### ご参考

- APPLY ボタンを押した後は、編集前の状態に戻りません。

**[RELOAD]** 表示しているページの設定値を再読み込みします。

**[RESET]** 各項目の設定が工場出荷の状態に戻ります。

## NAME 設定

HOME 画面左側にある NAME をクリックして設定画面に入ります。

MONITOR NAME	本機の名称を設定します。初期設定はモデル名です。 この名称はアプリケーション使用時に同じネットワーク上の機器を検索すると表示されます。	英数字 最大 16 文字
HOST NAME	本機のホスト名を設定します。	英数字 最大 15 文字

## NETWORK SERVICE 設定

HOME 画面左側にある NETWORK SERVICE をクリックして設定画面に入ります。

HTTP PASSWORD	HTTP サーバーを使用する場合に、パスワードを設定します。パスワードは最大 32 文字までの英数字で設定してください。	
HTTP PASSWORD ENABLE	HTTP サーバーにログインする際のパスワード入力の有無を設定します。パスワードを入力する際は、USER NAME に本機の名称を設定します。	

---

## コマンドによる制御

RS-232C 端子やネットワーク (LAN) 経由で接続した外部機器とコマンドを送受信することでディスプレイの制御ができます。それぞれのコマンドフォーマットは、Web サイトの External\_Control\_J.pdf (「付録 A 外部のリソース」[56 ページ](#)) を参照ください。

# 故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。  
アフターサービスについては [51 ページ](#) をご覧ください。

## 表示されないときは…

症状	状態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが赤色に点滅している場合	本機の故障である可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	<a href="#">P.51</a>
	電源ランプが点灯しない場合 OSDメニューの「システム」→「電源ランプ」が「オン」の場合	電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	<a href="#">P.17</a>
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	
		主電源スイッチがオフになっている可能性がありますので、確認してください。	<a href="#">P.19</a>
	電源ランプが青色に点灯している場合	信号入力が無い入力コネクタが選択されている可能性があります。入力切替ボタンを押して、入力コネクタを切り替えてください。	<a href="#">P.13</a>
		OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	<a href="#">P.24</a>
		● OSD 画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	<a href="#">P.51</a>
		● OSD 画面が正常に表示されれば故障ではありません。「映像設定」の「バックライト」と「コントラスト」を調節してください。	<a href="#">P.57</a>
		● OSD 画面が正常に表示され、「バックライト」と「コントラスト」を調節しても画面が表示されない場合は、接続している機器が正しい動作状態にあることを確認してください。コンピューターと接続している場合は、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	<a href="#">P.52</a>
		主電源を入れた後、本機の起動に時間がかかる場合があります。起動するまではボタン操作に反応しません。30 秒間ほど待ち、電源ランプが赤色点灯に変わってから POWER ボタンを押してください。	
電源ランプが青色以外に点灯もしくは点滅している場合	パワーマネジメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かす、またはリモコンの POWER ON ボタンを押してください。	<a href="#">P.19</a> , <a href="#">P.20</a> , <a href="#">P.26</a>	
	信号ケーブルが本機または接続機器のコネクタに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	<a href="#">P.15</a> , <a href="#">P.16</a>	
	変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	<a href="#">P.15</a> , <a href="#">P.16</a>	
	接続しているコンピューターや映像機器の電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。		
画面が表示されなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになると、表示しなくなった場合*	新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	<a href="#">P.51</a>

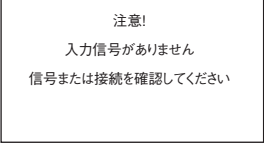
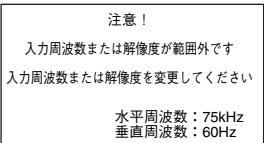
\* ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があります。

## 表示がおかしいときは…

症 状	原因と対処	参照
画面上に黒点(点灯しない点)や輝点(点灯したままの点)がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P.3
画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
細かい模様を表示するとモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面を見る角度によって色がおかしい	視野角(画面を見る角度)によっては、色相の変化が大きくなります。	P.54
画面の表示状態が変わっていく	ディスプレイは使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P.20
画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	同じ画像を長時間表示させないでください。残像現象が起こる場合があります。残像現象は、動画等を表示することで、徐々に軽減されます。	
表示色がおかしい	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。 ● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。 ● OSD画面が正常に表示されれば故障ではありません。「色のこさ」を選択し、お好みで色の割合を調節していただくか、または映像設定の「アドバンスト」のリセットを実行して工場出荷値に戻してください。 ● OSD画面が正常に表示され、「映像設定」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P.24 P.51 P.57, P.58 P.52, P.57
画面がざらつく(上記以外の場合)、または映像が一瞬途切れる	中継器、分配器、長いケーブルを使用した場合、画面のざらつきや映像が一瞬途切れることがあります。ご使用のケーブルをシールド付きの物に交換する、もしくは中継器、分配器を使用せずに直接ディスプレイ本体にケーブルを接続してください。ツイストペアケーブル延長器をご利用の際はシールド付きケーブルに対応したものをご使用ください。また、使用環境や使用ケーブルによって画面にノイズが現れたり映像が途切れることがあります。接続されているシステムに関するご相談は、ご購入の販売店または営業担当にお問い合わせください。シャープサポートページの問い合わせフォームよりお問い合わせいただくことも可能です。 シャープサポートページ： <a href="https://jp.sharp/business/lcd-display/support/">https://jp.sharp/business/lcd-display/support/</a>	
	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P.24
	● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	P.51
	● HDMI入力を使用し、解像度3840×2160または4096×2160にて入力した際に映像が途切れる場合は、4K対応のHDMIケーブルをご使用ください。	P.16
自動的に電源が切れてしまう	「CEC」の設定を無効にしてください。	P.61
画面が乱れる	電源を入れたとき、または設定を変更したときに画像が乱れることがありますが、故障ではありません。	



## 案内画面／注意画面が表示されたら…

症状	原因	対処	参照
画面に「注意」が表示された <sup>※1</sup> 	信号ケーブルが本体またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本体およびコンピューターのコネクターに正しく接続してください。	<a href="#">P.15</a> , <a href="#">P.16</a>
	HDMI入力が切り替わった可能性があります。	「CEC」の設定を無効にしてください。	<a href="#">P.61</a>
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	
	コンピューターの電源が切れている可能性があります。	コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
	コンピューターのパワーマネージメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	
<sup>※2</sup> 	本機に適切な信号が入力されていない可能性があります。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	<a href="#">P.52</a>
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	<a href="#">P.52</a>
画面に「温度警告!!」が表示された	周りの環境が保証温度を超えた状態になっています。	故障の原因となりますので、電源を切ってください。	

※1 コンピューターによっては、解像度や入力周波数を変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待つて画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。

※2 コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待つて画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

## その他（コンピューターと接続している場合）

症状	原因	対処
解像度や色数の変更ができない／固定されてしまう	うまく信号が入出力できないことがまれにあります。	本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。
	ビデオカードのドライバーがOSに正しく認識されていない可能性があります。	ビデオカードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書を参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。
接続しているUSB対応周辺機器が認識されない。正常に動作しない。	Windowsをお使いの場合：USB対応周辺機器のデバイスドライバーが正常に組み込まれていない（ドライバーインストールが必要なUSB対応周辺機器のみ）	USB対応周辺機器のデバイスドライバーを組み込んでください。デバイスマネージャーで“不明なデバイス”と表示される場合は、“不明なデバイス”をデバイスマネージャー上で削除し、USB対応周辺機器のデバイスドライバーを組み込んでください。
USBポートを多段接続（複数台の連結接続）した後に、USB対応周辺機器を接続すると、USB対応周辺機器が正常に動作しない。	USB対応周辺機器が、USBポートの多段接続に対応していない。	USB対応周辺機器をコンピューターに近いUSBポートに接続してください。

## その他 (リモコン、スピーカー)

症 状	原因と対処	参照
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リモコンの乾電池の+-が逆に入っていませんか。</li> <li>● ディスプレイ本体またはリモート入力コネクタに接続したセンサーユニットの受光部に正しく向けていますか。</li> <li>● 「ロック設定」の選択が「IR」または「Key &amp; IR」が設定されていませんか。</li> <li>● リモコンがIDモードになっていませんか。</li> <li>● モニターIDとリモコンIDの番号はあっていますか。</li> </ul>	P.18, P.40, P.65
映像は出るが、音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オーディオケーブルが正しく接続されているか確認してください。また音声バランスが片側によっていないか調べてください。片側によっている場合はバランス設定をセンターに戻してください。</li> <li>● 消音状態になっていませんか。リモコンの MUTE ボタンを押して、音が出るかどうかを確認してください。</li> <li>● 音量が最小になっていませんか。本体の ◀▶ ボタンまたはリモコンの音量調節プラスボタン(+), 音量調節マイナスボタン(-) で音量を調節してください。</li> </ul>	P.15, P.16, P.21, P.59, P.61

## その他 (USB、RS-232C または LAN で接続している)

症 状	原因と対処	参照
RS-232C で制御できない	リバースタイプ(クロスタイプ)のRS-232C ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。	P.42
LAN で制御できない	LANケーブル(カテゴリ5以上)が正しく接続されているかを確認してください。	P.43
	ネットワーク設定が正しく設定されているか確認してください。	P.43

## メディアプレーヤーを使用するとき

症 状	原因と対処	参照
メディアプレーヤー機能で USB ストレージデバイスが認識されない	USB に USB ストレージデバイスが正しく接続されていることを確認してください。	P.15

## 映像機器を使用するとき

症 状	原因と対処	参照
映像も音も出ない	プレーヤーなどの外部機器は正しく接続し、正しく操作していますか。詳しくは外部機器の取扱説明書をご覧ください。	P.15
	本機のパワーマネジメント機能が作動している可能性があります。外部機器側が動作(再生)状態になっているかご確認ください。	P.20
色がつかない、色がおかしい	「色のこさ」の調節をしてください。	P.57
画面が縦長に見える	16:9の映像が4:3に圧縮され、縦長の映像として表示されている場合(スクイーズ信号)があります。正しい比率で見るために、画面の「アスペクト」を「ワイド」に設定してください。	P.58

# アフターサービスについて

## ■ 製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みの上大切に保存してください。

保証期間はご購入の日から3年間です（ただし、光源のLED バックライトは消耗品ですので、保証の対象になりません）。

1日18時間を越える連続稼働使用は保証対象外となります。保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証書が適用される範囲は、製品のハードウェア部分に限らせていただきます。

修理の際の取り外し、再設置に要する費用は、別途お客様負担となります。

製品のハードウェア部分に起因しない不具合について復旧作業を行う場合は、別途作業費を申し受けます。

## ■ 補修用性能部品について

当社は、原則として、本製品の補修用性能部品を製造打切後、5年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

## ■ 修理を依頼される時は（出張修理）

先に「故障かな？と思ったら」（54ページ）をお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、ご購入のの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口（同梱のご相談窓口のご案内）にご連絡ください。ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

### ご連絡していただきたい内容

- 品名：インフォメーションディスプレイ
- 形名：PN-ME652/PN-ME552/PN-ME502/PN-ME432（取り付けている別売品があれば、その形名も連絡ください。）
- ご購入日（年月日）
- 故障の状況（できるだけ具体的に）
- ご住所（付近の目印も併せてお知らせください。）
- お名前
- 電話番号
- ご訪問希望日

### 保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

### 修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

アフターサービスについてわからないことは、ご購入の販売店またはもよりのお客様ご相談窓口（同梱のご相談窓口のご案内）にお問い合わせください。

# 仕様

## ■ PC 対応信号タイミング

画面解像度		水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ドット周波数 (MHz)	デジタル		
					HDMI		USB-C (DisplayPort)
					設定 1*	設定 2*	
VESA	640 × 480	31.5	60	25.175	○	○	○
	800 × 600	37.9	60	40.0	○	○	○
	1024 × 768	48.4	60	65.0	○	○	○
	1280 × 1024	64.0	60	108.0	○	○	○
	1360 × 768	47.7	60	85.5	○	—	○
	1366 × 768	47.7	60	85.5	○	○	○
	1440 × 900	55.9	60	106.5	○	○	○
	1680 × 1050	65.3	60	146.25	○	○	○
	1400 × 1050	65.3	60	121.8	○	○	○
	1600 × 1200	75.0	60	162.0	○	○	○
	1920 × 1200	74.6	60	193.3	○	○	○
ワイド	1280 × 720	44.7	60	74.4	○	○	○
	1920 × 1080	67.5	60	148.5	○	○	○
	3840 × 2160	54.0	24	297.0	○	○	○
		56.25	25	297.0	○	○	○
		67.5	30	297.0	○	○	○
		112.5	50	594.0	—	○	○
		135.0	60	594.0	—	○	○
	4096 × 2160	54.0	24	297.0	○	○	○
		56.0	25	297.0	—	○	○
		67.0	30	297.0	—	○	○
112.5		50	594.0	—	○	○	
135.0		60	594.0	—	○	○	
US TEXT	720 × 400	31.5	70	28.3	○	○	○

\*: 設定1、設定2については「HDMI Mode」(61ページ)を参照ください。

- 接続するコンピューターによっては、上記対応信号であっても正しく表示できない場合があります。

## ■ AV 対応信号タイミング

画面解像度	周波数 (Hz)	HDMI		USB-C
		設定 1*	設定 2*	
4096 × 2160p	24	○	○	○
	25	—	○	○
	30	—	○	○
	50	—	○	○
	59.94	—	○	○
	60	—	○	○
3840 × 2160p	24	○	○	○
	25	○	○	○
	30	○	○	○
	50	—	○	○
	59.94	—	○	○
	60	—	○	○
1920 × 1080p	24	○	○	○
	50	○	○	○
	59.94	○	○	○
	60	○	○	○
1920 × 1080i	50	○	○	—
	59.94	○	○	—
	60	○	○	—
1280 × 720p	50	○	○	○
	59.94	○	○	○
	60	○	○	○
720 × 576p	50	○	○	○
720 × 480p	59.94	○	○	○
	60	○	○	○
640 × 480p (VGA)	59.94	○	○	—
	60	○	○	—
720 (1440) × 576i	50	○	○	—
720 (1440) × 480i	59.94	○	○	—
	60	○	○	—

\*: 設定1、設定2については「HDMI Mode」(61ページ)を参照ください。

## ■ 製品仕様

形名	PN-ME652	PN-ME552	PN-ME502	PN-ME432
液晶表示素子	65V型ワイド(対角163.90 cm) TFT液晶	55V型ワイド(対角138.78 cm) TFT液晶	50V型ワイド(対角125.73 cm) TFT液晶	43V型ワイド(対角107.99 cm) TFT液晶
最大解像度	3840×2160			
最大表示色	約10.7億色			
画素ピッチ	水平 0.372 mm×垂直 0.372 mm	水平 0.315 mm×垂直 0.315 mm	水平 0.285 mm×垂直 0.285 mm	水平 0.245 mm×垂直 0.245 mm
輝度(最大値) <sup>*1</sup>	450 cd/m <sup>2</sup>			400 cd/m <sup>2</sup>
コントラスト比(標準値)	1,200:1		5,000:1	1,200:1
視野角	左右178°/上下178°(コントラスト比≥10)			
表示画面サイズ	横 1428.48 mm×縦 803.52 mm	横 1209.60 mm×縦 680.40 mm	横 1095.84 mm×縦 616.41 mm	横 941.18 mm×縦 529.42 mm
入力端子	映像	HDMI(3系統) USB Type-C(1系統)		
	シリアル(RS-232C)	D-Sub9ピン(1系統)		
	リモート	φ3.5mmミニステレオジャック(1系統)		
出力端子	音声	φ3.5mmミニステレオジャック(1系統) デジタル音声出力(光)(1系統)		
USB端子	USB 3.0(1系統)、USB 2.0(1系統) USB 3.0(1系統、USB Type-C入力端子に接続された機器用)			
LAN端子	10BASE-T/100BASE-TX			
システム	OS	Android 13		
	CPU	Arm Cortex-A55(クアッドコア)		
	メモリー	4 GB		
	ストレージ	32 GB		
スピーカー出力	10 W+10 W			
電源 <sup>*2</sup>	AC100-240 V、3.1 A、50/60 Hz	AC100-240 V、2.6 A、50/60 Hz	AC100-240 V、2.0 A、50/60 Hz	AC100-240 V、2.2 A、50/60 Hz
使用温度条件 <sup>*3</sup>	0~40℃			
使用湿度条件	20~80%(結露なきこと)			
消費電力(入力信号待機状態/ ネットワークスタンバイモード/ スタンバイモード) <sup>*4</sup>	140 W (2.0 W / 2.0 W / 0.5 W)	120 W (2.0 W / 2.0 W / 0.5 W)	85 W (2.0 W / 2.0 W / 0.5 W)	90 W (2.0 W / 2.0 W / 0.5 W)
外形寸法(突起部を除く)	幅約 1463.3 mm× 奥行約 68.0 mm× 高さ約 838.3 mm	幅約 1233.0 mm× 奥行約 62.0 mm× 高さ約 703.5 mm	幅約 1118.6 mm× 奥行約 62.0 mm× 高さ約 639.2 mm	幅約 964.6 mm× 奥行約 62.0 mm× 高さ約 552.5 mm
質量	約23.9 kg	約13.2 kg	約11.7 kg	約9.4 kg
梱包時寸法	幅約 1628 mm× 奥行約 185 mm× 高さ約 942 mm	幅約 1332 mm× 奥行約 156 mm× 高さ約 819 mm	幅約 1202 mm× 奥行約 156 mm× 高さ約 719 mm	幅約 1056 mm× 奥行約 156 mm× 高さ約 632 mm
梱包時質量	約 34.5 kg	約 20.3 kg	約 17.5 kg	約 14.2 kg

※1 輝度は、入力モードや映像調整の設定などにより変わります。また、輝度は経年により劣化します。一定の輝度を維持するものではありません。

※2 AC200 V(50/60 Hz)のコンセントを使用するときは、別売の電源コード(QACCJ1093MPPZ)を使用してください。

※3 別売品を付けると温度条件が変わる場合があります。別売品取り付け時の温度条件は、別売品の説明書をご確認ください。

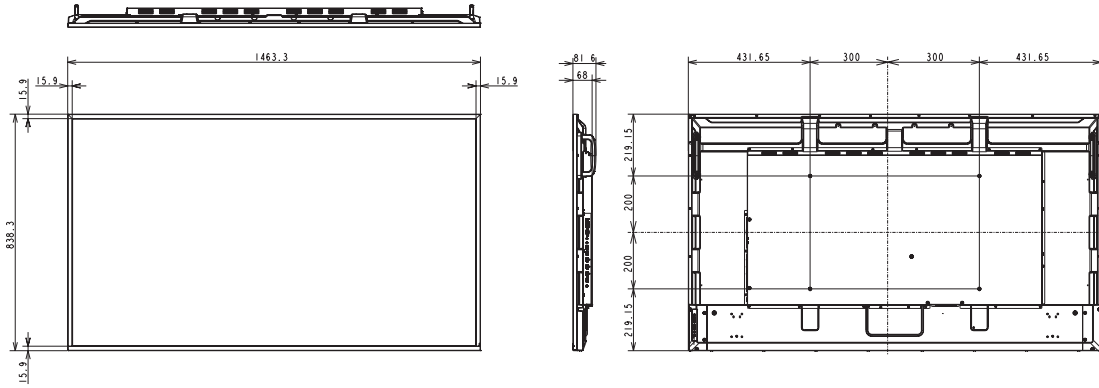
※4 別売品未装着時。

## ■ 寸法図

数値はおよその値です。

### [PN-ME652]

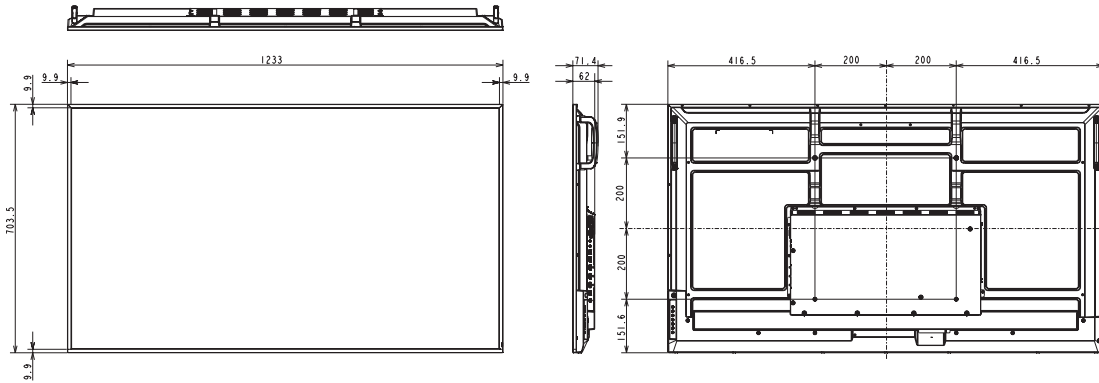
(単位 :mm)



※ VESA 規格の金具の取り付けには、M8 ネジで、長さが取り付け金具の厚さ+10 ~ 14 mm のものを使用してください。

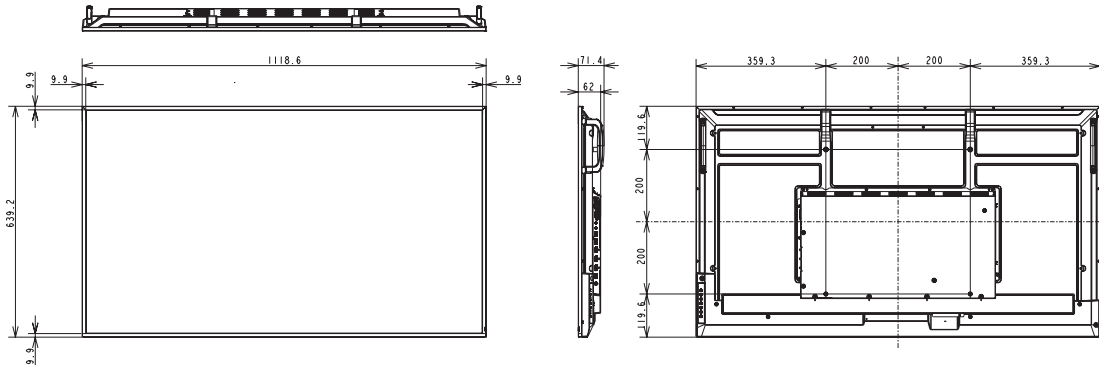
### [PN-ME552]

(単位 :mm)



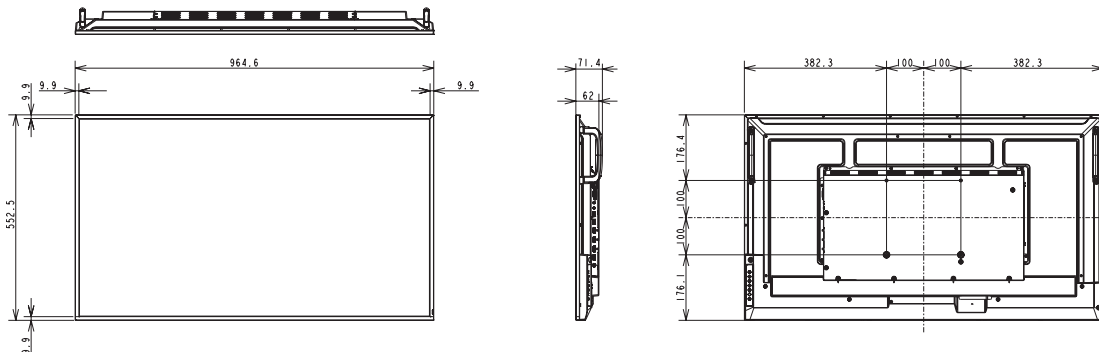
### [PN-ME502]

(単位 :mm)



### [PN-ME432]

(単位 :mm)



※ VESA 規格の金具の取り付けには、M6 ネジで、長さが取り付け金具の厚さ+10 ~ 14 mm のものを使用してください。

# 付録-A 外部のリソース

本機の仕様、アクセサリやオプションのソフトウェアに関するドキュメントで、取扱説明書にも記載されているものは以下のとおりです。

## ■ 本機についての Web サイト

日本 : <https://jp.sharp/business/lcd-display/>

## ■ 補足ドキュメント

### 【External Control】(PDF形式)

RS-232C または LAN を介してディスプレイを外部制御したりディスプレイへの問い合わせをするための通信プロトコルについて記載しています。このプロトコルは符号化バイナリを用いており、チェックサム計算が必要で、ディスプレイのほぼすべての機能を制御できるコマンドです。

詳細は Web サイトを参照ください。

### 【Projector / Monitor Common ASCII Control Command - Reference Manual】(PDF形式)

LAN を介して、シンプルな英語に似たシンタックスのコマンドでディスプレイの基本機能を外部制御するための通信プロトコルについて記載しています。既存の制御システムに少ない手間ですべて統合化するのに向いています。電源の状態、ビデオ系入力、音量やディスプレイの状態に関する制御や問い合わせといった機能を利用することができます。プロトコルは ASCII にエンコードされており、チェックサム計算は不要です。

詳細は Web サイトを参照ください。

## ■ ソフトウェア

### 【NaViSet Administrator】ソフトウェア



当社のディスプレイおよびプロジェクターをネットワークを介して高度に、かつパワフルに制御・監視し、資産を管理するフリーソフトです。Windows および macOS 環境下で動作します。

最新バージョンの「NaViSet Administrator」ソフトウェアは、以下の Web サイトからダウンロードできます。

[https://www.sharp-nec-displays.com/dl/jp/dp\\_index.html](https://www.sharp-nec-displays.com/dl/jp/dp_index.html)

### 【インフォメーションディスプレイダウンローダー】ソフトウェア

各ソフトウェアの最新版の確認とダウンロードができます。Windows 環境下で動作します。

「インフォメーションディスプレイダウンローダー」ソフトウェアは、以下の Web サイトからダウンロードできます。

[https://jp.sharp/business/lcd-display/support/download/driver\\_soft.html](https://jp.sharp/business/lcd-display/support/download/driver_soft.html)



# 付録-B 一般設定メニュー

初期設定値は、本機についての Web サイトを参照ください。

## 映像設定

映像設定	
ピクチャーモード	<p>使用する環境に適した映像設定にしたり、任意の設定ができます。</p> <p><b>ご参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>OSD メニューの「ピクチャーモード」で設定した内容は、現在選択されている「入力」に対し保存されます。</li> </ul>
標準	標準の映像設定です。
店舗	サイネージ、ブランディングに適した映像設定です。
会議室	テレビ会議等に適した映像設定です。
高輝度	外光の明るい環境に適した映像設定です。
交通機関	公共施設等の設置に適した映像設定です。
CUSTOM	任意の設定をおこないます。
バックライト	<p>画像の明るさをバックライトで調節します。</p> <p>+ボタンと-ボタンで画面をお好みの明るさに調節してください。通常の明るさ調節にはこちらをお使いください。</p> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「外光センサー」で「オン」が選択されている場合は変更できません。</li> </ul>
バックライトデミング <sup>*1.*3</sup>	「オン」を選択するとバックライトを自動的に調節し、表示内容に合わせた明るさになります。
ビデオブラックレベル <sup>*1</sup>	画面の黒レベルを設定します。
ガンマ <sup>*2</sup>	グレーなど、中間色の明るさを調節します。
NATIVE	ガンマ補正をオフし、液晶パネルの階調特性で表示します。
2.2	コンピューターで一般的な特性です。
2.4	DVD やBlu-ray などビデオ機器で一般的な特性です。
S GAMMA	暗い部分をより暗く、明るい部分をより明るく表示します。画像の明暗が強調されるため映画などに適します。
DICOM SIM.	医療業界で用いられるDICOM に近似したガンマ調節値に設定します。実際の診断には使用しないでください。
PROGRAMMABLE	対応するアプリケーションから詳細なガンマ特性を設定できます。対応するアプリケーションについては販売店にお問い合わせください。
色のこさ	
色のこさ <sup>*1.*3</sup>	<p>色のこさを調節します。</p> <p>+ボタンを押すと濃くなり、-ボタンを押すと薄くなります。</p>
色温度	<p>白色の色温度を調節します。</p> <p>色温度が低くなると画面が赤っぽくなり、高くなると画面が青っぽくなります。さらに細かい調節をおこなう場合、R/G/B レベルをそれぞれ変更できます。</p> <p><b>ご参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ガンマ」で「Programmable」を設定している場合、「色温度」は「Native」になります。</li> <li>使用するアプリケーションや MediaPlayer のコンテンツによっては動作しません。</li> </ul>
カラーコントロール <sup>*1.*3</sup>	指定の色の色相を調節します。例えば赤色を黄色もしくは紫色に変化させることができます。
コントラスト	<p>コントラストを調節します。</p> <p>+ボタンと-ボタンで画面をお好みのコントラストに調節してください。</p>

## 映像設定

アドバンスト	
HDR MODE* <sup>3</sup> 、* <sup>4</sup> (HDMI入力のみ)	本機がHDR信号を検出した場合、「弱」、「中」、「強」からお好みのガンマ特性が選択できます。 <b>ご参考</b> ・ 使用するアプリケーションや MediaPlayer のコンテンツによっては動作しません。
シャープネス* <sup>1</sup> 、* <sup>3</sup>	文字や画像のキレを調節します。 +ボタンを押すとシャープになり、-ボタンを押すとソフトになります。 <b>ご参考</b> ・ 調節によっては線が二重になる場合があります。この場合はシャープネスの設定を下げてください。
アダプティブコントラスト* <sup>1</sup> 、* <sup>3</sup>	画像に合わせてコントラストを自動的に調節する機能です。「強」を選択すると明暗がはっきりした表示になりますが、明るさの変化が不自然になる場合があります。
アスペクト* <sup>1</sup> 、* <sup>3</sup>	画像のアスペクトを選択します。詳細は本取扱説明書のアスペクト変更について(23ページ)を参照ください。 <b>ご参考</b> ・ 4K 信号を入力している場合、「ZOOM」は使用できません。
標準	比率を変えずに、できるだけ大きく表示します。
フル	比率を変えて、画面いっぱいに表示します。
ワイド	16:9 のレターボックス信号を画面いっぱいになるよう表示します。 画像のアスペクトによっては画像の一部が表示されない場合があります。
1:1	画像サイズそのままです。入力 信号の解像度が推奨解像度を超える場合、画像サイズを小さくし画面に合うよう表示します。
ズーム	画像を拡大/縮小します。 <b>ご参考</b> ・ 拡大表示した場合、表示エリアから出た部分の画像は表示しません。縮小で表示した場合、画像が劣化することがあります。
ZOOM	水平、垂直比を維持して画像を拡大します。
外光センサー	室内の明るさに応じて画面の明るさを自動的に調節する機能をもっています。「オン」に設定すると、室内の明るさの状態に応じてディスプレイの明るさを自動的に調節します。 「オン」を選び、バックライトの最大値、明るいときと暗いときのバックライト値を設定します。 明るい時:室内が明るい状態のときの設定 照度 ..... 室内が明るい状態での明るさのレベル バックライト ... 室内が明るい状態でのバックライトの最大値 暗い時:室内が暗い状態のときの設定 照度 ..... 室内が暗い状態での明るさのレベル バックライト ... 室内が暗い状態でのバックライトの下限值 状況:現在の「照度」と「バックライト」の状態  <b>ご参考</b> ・ 「オン」を選択すると「バックライト」は変更できません。 <b>ご注意</b> ・ 「外光センサー」選択時には、センサーが障害物の陰にならないよう注意してください。
リセット	「ピクチャーモード」以外の映像設定の各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

\*1: 入力端子の設定が「HOME」の場合は無効になります。

\*2: 「ピクチャーモード」を「Custom」以外に設定している場合は無効になります。

\*3: 「色温度」の設定が「Thru」の場合は無効になります。

\*4: 入力端子の設定が「USB-C」の場合は無効になります。

## 音声設定

音声設定	
音声モード	使用する環境に適した音声効果の設定にしたり、任意の設定ができます。 <b>ご参考</b> <ul style="list-style-type: none"><li>OSDメニューの「音声モード」で設定した内容は、現在選択されている入力に対し保存されます。</li></ul>
標準	標準の音響設定です。
店舗	店舗等でのサインージ用途に適した音響設定です。
会議室	電話会議やテレビ会議に適した音響設定です。
高輝度	視覚的なメッセージを強調するための音響設定です。無音状態になります。
交通機関	公共施設等の設置に適した音響設定です。無音状態になります。
CUSTOM	任意の設定をおこないます。
音量	音量を調節します。
バランス	+ボタンを押すと右側の音が大きくなり、-ボタンを押すと左側の音が大きくなります。
高音	高音域の音量を調節します。 +ボタンを押すと高い音が強くなり、-ボタンを押すと高い音が弱くなります。
低音	低音域の音量を調節します。 +ボタンを押すと低い音が強くなり、-ボタンを押すと低い音が弱くなります。
リセット	「音声モード」以外の音声設定の各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

# 付録-C 管理者設定メニュー

## 入力&出力

入力&出力	
入力切替	
スタートアップアプリ	自動で起動するアプリケーションを設定します。
自動入力切替	有効にすると複数の入力がある場合に、入力信号があるコネクタに自動的に切り替わります。 選択されているコネクタはリモコンのDISPLAY ボタンを押すとインフォメーションOSD に表示されます。 <b>ご参考</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・「本体設定」の「人感センサー」が有効になっている場合は動作しません。</li></ul>
オフ	入力端子を手動で切替えます。
First Detect	現在表示しているコネクタの入力信号が無くなった場合は、入力信号のある他の端子を探して自動的に切り替えます。 現在表示している端子とは別の端子から新たに信号が入力された場合でも、表示は切り替えません。
Last Detect	現在表示しているコネクタの入力信号が無くなった場合は、入力信号のある他の端子を探して自動的に切り替えます。 現在表示している端子とは別の端子から新たに信号が入力された場合は、表示を切り替えます。
Custom Detect	入力信号を自動で切り替えるときの優先順位を設定できます。 <b>ご参考</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・「Custom Detect」を選択すると、「優先順位」を設定していない入力信号には切り替えられません。</li></ul>
Custom: 優先順位 1 Custom: 優先順位 2 Custom: 優先順位 3	
入力名設定	入力切替または入力モード表示時に、表示される入力モード名を端子ごとに変えることができます。「入力モード名の入力」を有効にすると各端子の名称を設定できます。
入力選択設定	「入力切替」に表示する入力端子を設定します。 オン: 端子名をリストに表示します。 オフ: 端子名をリストに表示しません。 自動: ケーブルが接続されている場合のみ端子名を表示します。

入力&出力	
信号設定	
HDMI Mode	HDMI モード (バージョン)「設定1」または「設定2」を選択します。 設定1: 最大解像度 3840 x 2160 (30Hz) 設定2: 最大解像度 3840 x 2160 (60Hz)、HDCP 2.2 またはHDR
USB-C 設定	自動: 通常はこちらを使用します。 USB2.0: 動作が不安定な時に選択してください。この場合、通信はUSB2.0に固定されます。 <b>ご参考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「USB2.0」に設定しても動作が不安定な場合は、別の USB-C ケーブルを接続してみてください。</li> </ul>
ビデオレンジ	表示する階調範囲を映像信号にあわせ、映像の白飛びや黒浮きを改善します。 <b>ご参考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>入力端子が「HDMI」または「USB-C」の場合のみ動作します。</li> </ul> 自動: 映像信号を検出し「ノーマル」と「エキスパンド」を自動的に切り替えます。通常はこちらを選択してください。 エキスパンド: AV機器用の設定です。入力 信号の16 ~ 235階調を0 ~ 255階調に拡張して表示します。 ノーマル: コンピューター用の設定です。入力 信号の0 ~ 255階調をすべて表示します。
サウンド設定	
ラインアウト	音声出力端子から出力される音量について設定します。 設定に関係なく、デジタル音声出力(光)端子からの音量は固定されます。
固定	音声出力端子の音量は固定されます。出力先の機器で音量を調節してください。
連動	「音量」で、本機のスピーカーと音声出力端子の音量を同時に調節します。
内蔵スピーカー	「オフ」を選択すると内蔵スピーカーの出力を停止します。
音声遅延	
音声遅延	「オン」を選択すると遅延時間が反映されます。
遅延時間	音声が出力されるまでの遅延時間を調節します。遅延時間は0 ~ 100 ミリ秒の間で設定できます。
CEC	
CEC	HDMI1 入力端子に接続されている機器とのHDMI CEC による連動について設定します。 <b>ご参考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>リモコンで HDMI コネクタに接続している HDMI-CEC 対応機器を操作することができます。対応するリモコンボタンは以下になります。 1 (◀▶)、2 (▶)、3 (▶▶)、5 (■)、6 (  )、7 (◀◀)、9 (▶▶)、ENT、EXIT、▲、▼、◀、▶、MUTE、VOL+、VOL-</li> </ul>
オートオフ	本機をリモコンのSTANDBY ボタンまたは本体の POWER ボタンでスタンバイ状態にしたときに接続しているHDMI-CEC 対応機器の状態も連動してスタンバイ状態にします。 <b>ご参考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>接続している HDMI-CEC 対応機器が録画など作動中の場合は本機の状態に連動しない場合があります。</li> </ul>
オーディオレシーバー	ARC 対応オーディオ機器を接続する場合、付属の ARC 対応HDMIケーブルを使用して本機の HDMI1 (ARC) 端子に接続してください。 「有効にする」を選択した場合は、接続した ARC 対応オーディオ機器から音声を出力し、本機の内蔵スピーカーはミュート(消音)になります。 「無効にする」を選択した場合は、本機の内蔵スピーカーから音声を出力し、接続しているARC対応オーディオ機器の音声はミュート(消音)になります。 <b>ご参考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>オーディオレシーバーの設定を切り替えると音声が出力されるまでに時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。</li> </ul>
リセット	「入力名設定」、「Custom:優先順位」以外の入力&出力の各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

## スケジュール

スケジュール	
電源オンスケジュール	電源を入れるスケジュールを設定します。(35ページ)
電源オンスケジュールを追加	電源を入れる時刻や曜日を設定します。
電源オフスケジュール	電源を切るスケジュールを設定します。
電源オフスケジュールを追加	電源を切る時刻や曜日を設定します。
再起動スケジュール	Android システムを再起動するスケジュールを設定します。
再起動スケジュールを追加	再起動する時刻や曜日を設定します。
スケジュールリスト	設定しているスケジュールの一覧を表示します。 リストから各スケジュールの実行、無効を切り替えたり、編集、スケジュールの削除ができます。
リセット	スケジュールの各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

### ご参考

- スケジュールを設定する前に、必ず「日付／時刻設定」で現在の日付を設定してください。
- 各スケジュールは、5分以上間隔をあけて設定する必要があります。
- スケジュールは15件まで登録できます。

## ネットワーク

ネットワーク	
イーサネット	
イーサネット	LAN 端子を使用するかどうかを設定します。 使用する場合、IP アドレス等を自動で取得するか手動で設定します。
IPアドレス自動取得	有効にすると本機を接続するネットワークが、DHCP サーバーによってIP アドレスを自動的に割り当てます。 自動的に割り当てられない場合は無効にし、以下の「IP アドレス」などを設定してください。 <b>ご参考</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• 「IPアドレス自動取得」を無効にしている場合のIPアドレスは、ネットワーク管理者にご確認ください。</li></ul>
IP アドレス	「IPアドレス自動取得」が無効の場合に、本機を接続するネットワークにおける本機のIP アドレスを設定します。
デフォルトゲートウェイ	「IPアドレス自動取得」が無効の場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。 <b>ご参考</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• 設定を削除する場合は、[0.0.0.0]を設定します。</li></ul>
ネットマスク	「IPアドレス自動取得」が無効の場合に、本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。
DNS 1	「IPアドレス自動取得」が無効の場合に、本機を接続するネットワークの優先DNS サーバーのIP アドレスを設定します。 <b>ご参考</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• 設定を削除する場合は、[0.0.0.0]を設定します。</li></ul>
DNS 2	「IPアドレス自動取得」が無効の場合に、本機を接続するネットワークの代替DNS サーバーのIP アドレスを設定します。 <b>ご参考</b> <ul style="list-style-type: none"><li>• 設定を削除する場合は、[0.0.0.0]を設定します。</li></ul>
MACアドレス	MAC アドレスを表示します。
プロキシ	プロキシ環境で使用するかどうかを設定します。 オフ: プロキシを使用しません。 手動: プロキシのホスト名、ポート、バイパスを設定します。 Proxy Auto-Config: 「プロキシ自動構成(Pac)」にPACファイルがあるURLを設定します。

ネットワーク	
PING	プリセットのIPアドレスで、通信の応答を確認します。
IPアドレス	PING を送る「IP アドレス」を設定します。
実行	設定した「IP アドレス」に対してPING を送信し、返答の有無を確認します。
ネットワーク設定	
HTTP Server	HTTPサーバー機能を使う場合は有効にします。
AMX	有効にすると、AMX 社のNetLinxコントロールシステムに対応したネットワークに接続した場合、AMX Device Discovery から自動的に検出されます。
Host Name	本機のホスト名を設定します。英数字最大15文字。
モニタ制御	
ネットワークディスプレイ制御	ネットワーク経由で本機を制御するかどうかを設定します。
ユーザー名	本機に接続するときのアカウント名を設定します。
パスワード	本機に接続するときのパスワードを設定します。「OK」を押してパスワードを入力してください。
ポート番号	使用するポート番号を設定します。
自動ログアウト時間(分)	通信が無い状態が続いたとき、自動的にログアウトする時間を分単位で設定します。
認証にセキュアなプロトコルを使用	本機に接続するとき、認証にセキュアなプロトコルを使用する場合は、有効にします。有効にした場合、公開鍵ファイルを設定します。
公開鍵ファイル	本機では、下記の公開鍵に対応しています。 RSA (2048bit 以上)、DSA、ECDSA-256、ECDSA-384、ECDSA-521、ED25519 アップロード: 公開鍵ファイルを本機にアップロードします。 ダウンロード: 本機にアップロードされている公開鍵ファイルを書き出します。 削除: 本機にアップロードされている公開鍵ファイルを削除します。
リセット	設定を工場出荷時の状態に戻します。
IP アドレスフィルター	IP アドレスを指定して、本機への接続を禁止することができます。
Crestron Connected	<a href="#">64ページ</a> 参照。
リセット	以下の項目を除くネットワークの各設定が工場出荷時の状態に戻ります。 「Ping」、「モニタ制御」の「ユーザー名」、「パスワード」、「ポート番号」、「自動ログアウト時間(分)」、「認証にセキュアなプロトコルを使用」。

ネットワーク	
Crestron Connected	<p>Crestron Electronics 社製の機器やソフトウェアから、ネットワーク経由で本機を操作することができます。Crestron Connected は、Crestron Electronics 社が開発した、ネットワークに接続された複数の機器を管理・制御するための機能です。詳細は、Crestron Electronics 社のホームページをご覧ください。</p> <p><a href="https://www.crestron.com/">https://www.crestron.com/</a></p> <p>本機は、「Crestron Fusion」「Crestron XiO Cloud」に対応しています。詳細は、Crestron Electronics 社のホームページをご覧ください。</p> <p><a href="https://www.crestron.com/Products/Featured-Solutions/Crestron-Fusion">https://www.crestron.com/Products/Featured-Solutions/Crestron-Fusion</a></p> <p><a href="https://www.crestron.com/Products/Featured-Solutions/XiO-Cloud">https://www.crestron.com/Products/Featured-Solutions/XiO-Cloud</a></p>
Control System	
Control System* <sup>1</sup>	制御システムを使用するかどうか設定します。設定が終わってから有効にしてください。
IP アドレス	制御システムの IP アドレスを設定します。
ポート番号	制御システムに接続するときのポート番号を設定します。
IPID	制御システムに接続するときの ID を設定します。
Virtual Control Room Id	Virtual Control Room に接続するときの ID を設定します。Virtual Control Room を使用しない場合は、空欄にしてください。
TLS を使う	TLS による暗号化通信を使用するかどうか設定します。
ユーザー名	TLS を使う場合、ユーザー名を設定します。
パスワード	TLS を使う場合、パスワードを設定します。
証明書の確認	TLS を使う場合、証明書による認証をおこなうかどうか設定します。
証明書の管理	制御システムの証明書を本機に追加します。
Fusion On-Premises	
Fusion On-Premises* <sup>1</sup>	Fusion On-Premises を使用するかどうか設定します。設定が終わってから有効にしてください。
ポート番号	Fusion On-Premises に接続するときのポート番号を設定します。
IPID	Fusion On-Premises に接続するときの ID を設定します。
Fusion in the Cloud	
Fusion in the Cloud* <sup>1</sup>	Fusion in the Cloud を使用するかどうか設定します。設定が終わってから有効にしてください。
クラウド URL	Fusion in the Cloud の URL を設定します。
ポート番号	Fusion in the Cloud に接続するときのポート番号を設定します。
証明書の確認	Fusion in the Cloud に接続するとき、証明書による認証をおこなうかどうか設定します。
証明書の管理	Fusion in the Cloud の証明書を本機に追加します。
XiO Cloud	
XiO Cloud	XiO Cloud を使用するかどうか設定します。設定が終わってから有効にしてください。
クラウド URL	XiO Cloud の URL を設定します。
ホスト名	XiO Cloud に接続するときのホスト名を表示します。
シリアル番号	XiO Cloud に接続するときの製造番号を表示します。
Model Name	XiO Cloud に接続するときのモデル名を表示します。
MAC アドレス	XiO Cloud に接続するときの MAC アドレスを表示します。
Auto Discovery	本機を自動的に検出するかどうか設定します。
リセット	「Crestron」の設定を工場出荷時の状態に戻します。

\*1: 同時に使用することはできません。オンにできるのは、「Control System」、「Fusion On-Premises」、「Fusion in the Cloud」のうちいずれか一つです。



## 保護設定

保護設定	
パワーセーブ設定	
パワーセーブ	<p>パワーセーブを有効にするかどうかを設定します。</p> <p>有効にすると、入力信号が失われてパワーセーブに移行すると「モード」で選択した状態になります。パワーセーブに移行するまでの時間を設定することができます。パワーマネージメント機能については本取扱説明書の機能「電源オンモードと電源オフモード」を参照ください。(19ページ)</p> <p>無効にすると、パワーセーブには移行しません。POWER ボタンをオフにしたり、スケジュール機能の「電源オフスケジュール」や外部コマンドで本機の電源がオフになると、「モード」で選択した状態になります。</p> <p><b>ご参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「人感センサー」*1 で「オートオフ」または「CUSTOM」が選択されている場合、パワーセーブ機能は動作しません。</li> <li>入力信号が無い場合でもビデオカードによっては信号を送り続けてしまうことがあります。この場合、パワーセーブに移行しません。</li> </ul> <p>*1: 別売のリモートコントロールキットのセンサーユニット接続時のみ。センサーユニットについては販売店にお問い合わせください。</p>
時間設定	<p>パワーセーブに移行する時間を設定します。入力信号が失われ設定した時間が経過するとパワーセーブ機能が動作します。</p>
モード	<p>「最大省電力」を設定した場合、接続している機器の信号が入力されても自動的に復帰しません。この場合、信号ケーブルを差しなおすか POWER ボタンでオンにしてください。</p> <p>「通常省電力」を設定した場合、接続している機器の信号が入力されると自動的に復帰します。外部制御(42ページ)をお使いの場合は「通常省電力」をおすすめします。</p>
USB電源	<p>USB Type-C 端子への電源供給の設定ができます。</p> <p>オン: スタンバイ状態の間も、常に電力を供給します。スタンバイ時に電源供給する場合は「オン」を選択してください。</p> <p>自動: 機器が接続されている場合のみ、電力を供給します。</p> <p>オフ: 電力を供給しません。</p> <p><b>ご参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>接続している USB 機器により消費電力は変わります。</li> </ul>
パワーセーブメッセージ	<p>パワーセーブに入るときに表示されるメッセージの表示、非表示を設定します。</p>
クイック起動	<p>有効にすると、消費電力は大きくなりますが、映像信号が入力したときのディスプレイの復帰時間が早くなります。</p>
無操作オフ ホーム画面	<p>ホーム画面でリモコン、LAN 制御、RS-232C 制御の操作がない場合に、電源待機状態に移行するかどうかを設定します。</p>
セキュリティ設定	
パスワード	<p>現在のパスワードを入力すると、以下の項目が設定できるようになります。</p>
管理者設定ロック	<p>「管理者設定」や「Updater」を使用するとき、パスワードが必要かどうかを設定します。</p>
Start-Up Lock	<p>電源オン時にセキュリティ機能のパスワードを要求します。</p>
Control Lock	<p>本体のボタンまたはリモコンのボタンを押したときにセキュリティ機能のパスワードを要求します。</p>
ロック設定	
	<p>リモコン、本体のボタン、または両方の操作をロックする機能です。(38ページ、39ページ)</p> <p><b>ご参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「IR」はリモコンのボタンロック機能です。本体コントロールパネルのボタン操作を制限する機能ではありません。</li> <li>リモコンの DISPLAY ボタンを 5 秒以上押し続けると、すべてのリモコンボタン操作が有効になります。</li> </ul>
選択	<p>操作をロックする対象を、「IR」、「Key」または「Key &amp; IR」から選択します。</p>
モード	<p>「モード」で「Unlock」、「All Lock」または「Custom Lock」を選択します。</p> <p>「実行」を選択すると設定が反映されます。</p>
Unlock	<p>すべてのボタンの操作が可能です。</p>
All Lock	<p>すべてのボタンの操作がロックされます。</p>
Custom Lock	<p>電源、音量、入力 の各ボタン操作を個別にロックすることができます。</p> <p>「Custom Lock」での設定を除き、すべてのボタンの操作はロックされます(38ページ、39ページ)。</p>

保護設定	
アドバンスト	
ユーザーアプリのインストール	apk ファイルによるアプリケーションのインストールを許可するかどうかを設定します。 <b>ご注意</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>お客様がインストールするアプリケーションは保証の対象外です。</li> <li>アプリケーションの安全性を確認してください。アプリケーションによっては、他のアプリケーションや本機の動作に影響を及ぼす場合があります。また、ウイルス感染やデータの破壊、改ざん、漏洩の可能性があります。</li> </ul>
アプリケーションロック	以下のアプリケーションの使用を禁止するかどうかを設定します。 有効にすると使用できなくなります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Updater</li> <li>Web ブラウザー</li> </ul>
USBメモリー有効	USB メモリーの使用を許可するかどうかを設定します。
遅延時間	スタンバイから電源オンモードになるまでの時間を設定します。 遅延時間は0 ~ 50 秒の間で設定できます。
リセット	「セキュリティ設定」と「遅延時間」を除く保護設定の各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

## 本体設定

本体設定	
アプリアイコン位置	ホーム画面に配置するアプリケーションのアイコンを設定します。
PIP	表示のしかたを設定します。 <b>ご参考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>本機能は主電源スイッチをオフにすると解除されます。</li> </ul>
PIP Enable	メイン画面内にサブ画面を表示します。 <b>ご参考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>本機能はメイン画面が Android ソースの場合のみ有効です。</li> <li>「スクリーン方向」で「ランドスケープ」を選択している場合のみ機能します。</li> </ul>
PIP Source	サブ画面に表示する入力信号を「HDMI1」、「HDMI2」、「HDMI3」、「USB-C」から選択します。
PIP Position	サブ画面の位置を「左上」、「右上」、「左下」、「右下」から選択します。
PIP Size	サブ画面の大きさを「大」、「中」、「小」から選択します。
タイルマトリクス	<b>ご参考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>本機能はホーム画面が表示されているときは機能しません。</li> </ul>
タイルマトリクス	タイルマトリクスは画面を分割してマルチスクリーンで表示する機能です。また、画像を水平および垂直に最大5分割できます。
水平モニター数	水平分割数を設定します。
垂直モニター数	垂直分割数を設定します。
位置	現在のディスプレイで表示する部分を選択します。
Tile Comp	画面を複数のディスプレイに分割して表示する場合、より自然に見えるようにディスプレイのつなぎ目の表示方法を変更します。

本体設定	
人感センサー*1	<p>人感センサーによる省電力機能を選択します。</p> <p><b>ご参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「人感センサー」で「オートオフ」または「CUSTOM」が選択されている場合、パワーセーブ機能は動作しません。</li> <li>「人感センサー」動作時に「入力 信号検出」を実行すると「人感センサー」は解除されます。</li> </ul>
人感センサー	
オートオフ	人が離れたことを感知し、設定した時間が経過すると、自動的にパワーオフの状態になります。人を感知すると元の状態に復帰します。
無効にする	「人感センサー」を使用しません。
Custom	人が離れたことを感知し、設定した時間が経過すると、自動的に画面の明るさ、音量、入力が「バックライト」、「音量」、「入力選択」で設定した値になります。人を感知すると明るさと音量は元の状態に戻り、入力選択で設定した入力信号が表示されます。
クローン設定	<p>現在制御中のディスプレイの設定値をUSB ストレージデバイス(FAT16、FAT32)を使って他のディスプレイに読み込み・書き込みします。</p> <p>USB書き込み: USB ストレージデバイスにディスプレイの設定内容のコピーをします。</p> <p>USB読み込み: USB ストレージデバイスに書き込まれた設定を読み出し、接続したディスプレイに選択した設定内容を上書きします。</p> <p><b>ご参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「USB 読み込み」を実行すると、全ての端子の設定が上書きされます。</li> <li>本機能は型名とファームウェアのバージョンが同じ製品間で機能します。</li> </ul>
映像設定	チェックが付いている項目がコピーの対象となります。
音声設定	<b>ご参考</b>
入力&出力	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機の電源を切ると項目の選択は解除されます。</li> </ul>
スケジュール	
ネットワーク	
保護設定	
本体設定	
システム	
コピー開始	選択した項目の読み込み、書き込みを開始します。
アドバンスト	
電源ランプ	無効にすると POWER ボタン入(青色 点灯)のとき、電源ランプを消灯することができます。
ミュート設定	<p>本機の音声出力と映像出力をミュートします。</p> <p><b>ご参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>以下の場合、ミュート設定が解除されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「入力」を変更した場合</li> <li>主電源スイッチをオフ / オンした場合</li> <li>POWER ボタンでオフ / オンした場合</li> <li>パワーセーブから復帰した時</li> <li>「ミュート設定」を変更した場合</li> <li>「音声モード」を変更した場合</li> <li>リモコンや本体キーで音量を変更した場合</li> <li>映像信号(解像度 / 走査周波数)を変更した場合</li> </ul> </li> <li>アプリケーションや MediaPlayer のコンテンツによっては動作しない場合があります。</li> </ul>
音声	リモコンの MUTE ボタンを押すと音声を出力しません。
映像	リモコンの MUTE ボタンを押すと映像を出力しません。
音声&映像	リモコンの MUTE ボタンを押すと音声と映像を出力しません。
コマンドフォーマット	コマンドのフォーマットを選びます。下記ホームページを参照ください。 <a href="https://www.sharp-nec-displays.com/global/index.html">https://www.sharp-nec-displays.com/global/index.html</a>
外部制御端子	制御する端子を選択します。

本体設定	
モニター ID	コントロール用のID 番号を与えます。モニターID 番号は1 ～100 の間で選べます。モニターID 番号はリモコンをID モードで使用する場合に使用します。
リセット	「アプリアイコン位置」を除く本体設定の各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

\*1: 別売のリモートコントロールキットのセンサーユニット接続時のみ。センサーユニットについては販売店にお問い合わせください。

## アプリケーション

アプリケーション	
	インストールされているアプリを管理します。

## システム

システム	
日付/時刻設定	<p><b>ご参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本機の主電源オフのまま約 2 週間以上経過すると時計機能が停止します。この場合は「日付 / 時刻設定」を再度おこなってください。</li> </ul>
日付/時刻設定	
24時間形式	時刻の表示を 24 時間表示にするかどうかを設定します。
日付と時刻の自動設定	日付・時刻をネットワークから自動で設定するかどうかを設定します。
日付設定	日付を設定します。「日付と時刻の自動設定」が無効の場合に表示されます。
時刻設定	時刻を設定します。「日付と時刻の自動設定」が無効の場合に表示されます。
日付形式	日付の表示形式を設定します。
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。
言語&キーボード	
言語	画面の表示言語を設定します。
仮想キーボード	画面に表示するキーボードを選びます。
物理キーボード	使用している物理キーボードの情報を表示します。物理キーボードを接続しているときに、画面にキーボードを表示するかどうかを設定します。
OSD	
OSD時間	OSD メニューを表示する時間の設定をします。 10 秒 ~ 240 秒の間で設定ができます。
インフォメーションOSD	インフォメーション OSD を表示するかどうかを設定します。「インフォメーション OSD」は入力の切替えや入力信号の状態が変化したとき、または入力 信号が異常なときに画面に表示されるメッセージです。
通信情報	「オン」を選択するとインフォメーション OSD にIPアドレスを表示します。 表示される内容はOSD メニューの「ネットワーク」→「イーサネット」で設定します。
スクリーン方向	OSD メニューと画像の表示方向を設定します。OSD メニューと画像の向きは同じ方向で表示されます。 <p><b>ご参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「HDMI」 と 「USB-C」 入力の画像は 「ポートレート」 に対応しません。</li> </ul>
ランドスケープ	横型設置した場合に見やすい方向で表示します。
ポートレート	縦型設置した場合に見やすい方向で表示します。
180°回転	180°回転して表示します。
ロゴ画面	起動時にロゴ画面を表示するかどうかを設定します。
起動アニメーション	起動時にアニメーションを表示するかどうかを設定します。
壁紙	ホーム画面の背景を設定します。

システム	
ストレージスペース	本機の内部ストレージおよび本機に接続している外部ストレージの容量を表示します。
ファームウェア更新	<p>ファームウェアバージョンの確認およびファームウェアをアップデートします。</p> <p><b>ご参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ファームウェアの更新後は、以前のバージョンに戻すことはできません。</li> </ul>
現在のバージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します。
アップデート	<p>ファームウェアが入ったUSB メモリーを本機に接続したあと、「確認」を押すと、ファームウェアが更新されます。</p> <p><b>ご参考</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適用可能なファームウェアは Web サイトからダウンロードできます (56 ページ)。インストールについては、それぞれの取扱説明書を参照してください。USB メモリーを使用して更新する場合は、本機の USB1 または USB2 端子に接続してください (15 ページ)。</li> </ul>
セキュリティ	
信頼できる認証情報	信頼できる認証情報を表示します。
ユーザー認証情報	ユーザー認証情報を表示します。
ストレージからインストール	接続しているストレージからファイルをインストールします。
認証情報を削除	すべての認証情報を削除します。
リセット	以下の項目を除くシステムの各設定が工場出荷時の状態に戻ります。 「言語&キーボード」、「OSD」の「スクリーン方向」、「ロゴ画面」、「起動アニメーション」、「壁紙」。
オールリセット	すべての設定が工場出荷の状態に戻ります。

## 端末情報

端末情報	
モニターインフォメーション	<p>モデル名、シリアルナンバー、CO2 削減量、CO2 排出量などを表示します。CO2 削減量は電源オン時およびパワーマネジメント機能動作時の積算した省エネ効果をCO2 削減量(kg-CO2) で表示します。CO2 排出量は計算によって求めた概算値であり、実測値とは異なります。またオプション機器を接続していない場合の計算値です。</p> <p>注: CO2 削減量は、OECD (経済協力開発機構)2008 年Edition の世界標準 CO2-電力量換算値に基づいて算出しています。</p>
法的情報	

# 設置時の注意事項(ご販売店・設置業者様用)

設置の前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

ご販売店、設置業者様は以下の説明をお読みのうえ本機を設置してください。

## 設置(設置業者様へ)

壁や天井に本機を設置する際には、本機と取り付け金具を合わせた4倍の質量に耐える場所(コンクリートの壁や柱など)に取り付けてください。

本機の質量は「仕様」を参照ください。

誤った設置、改造、自然災害による損傷につきましては、保証の対象範囲外です。

以上の推奨事項に従わなかった場合、保証書は無効になることがあります。

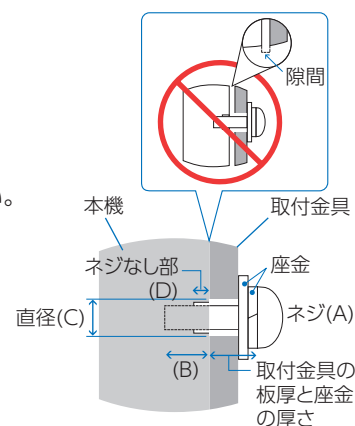
通風孔を取付金具などの器具でふさがないようにご注意ください。

設置の場所や状態によって本機内部に熱がこもらないように、空調や通風には十分配慮してください。

### 取付金具について

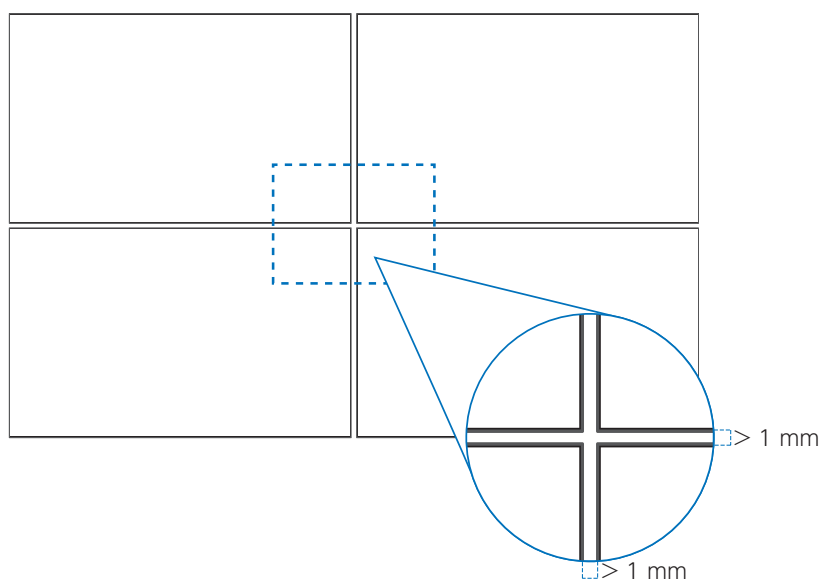
- 市販の取付金具は、本機を支えるのに十分なものを選んでください。本機の4倍の質量に耐えるものを使用してください。
  - 取り付け前に、強度など安全性を確認してください。
  - 金具の一部がディスプレイの通風孔をふさがないようにご注意ください。
  - 取り付け方法、安全な設置方法の詳細は、市販の取付金具の取扱説明書を参照ください。
- 取付穴は背面に4個あります。取り付けの際は上下左右均等に取り付けてください。(推奨取り付け例は「設置方法」を参照ください)
  - ディスプレイへの金具の取り付けには以下のサイズのネジを使用し、しっかりと締めてください。

形名	ネジサイズ		ネジ穴直径 (C)	ネジなし部 (D)	締付トルク
	(A)	(B)			
PN-ME432	M6(4本)	MAX 14 mm	≦ $\varnothing$ 8.5 mm	1 mm	390-670 N・cm
PN-ME502	M6(4本)	MAX 14 mm	≦ $\varnothing$ 8.5 mm	1 mm	390-670 N・cm
PN-ME552	M6(4本)	MAX 14 mm	≦ $\varnothing$ 8.5 mm	1 mm	390-670 N・cm
PN-ME652	M8(4本)	MAX 14 mm	≦ $\varnothing$ 12 mm	1 mm	950-1600 N・cm



### ご注意

- ディスプレイをマルチスクリーン構成で設置し長時間使用した場合、本機の内部温度の変化によりディスプレイが若干膨張することがあります。隣り合うディスプレイとの間に1 mm以上の隙間をあけて設置されることをおすすめします。

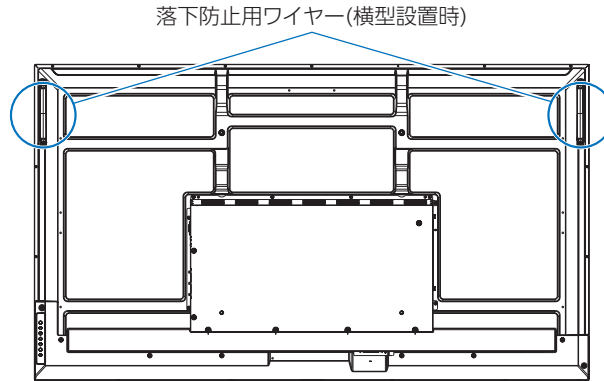


## ■ 落下防止対応のお願い

ディスプレイを壁掛けや天吊りで設置する場合は、市販の壁掛け・天吊り金具を使用し、さらに落下防止用ワイヤーを設置してください。

### 落下防止用ワイヤー取り付け可能取っ手位置

落下防止用ワイヤーは下図で示した取っ手を使用して取り付けてください。

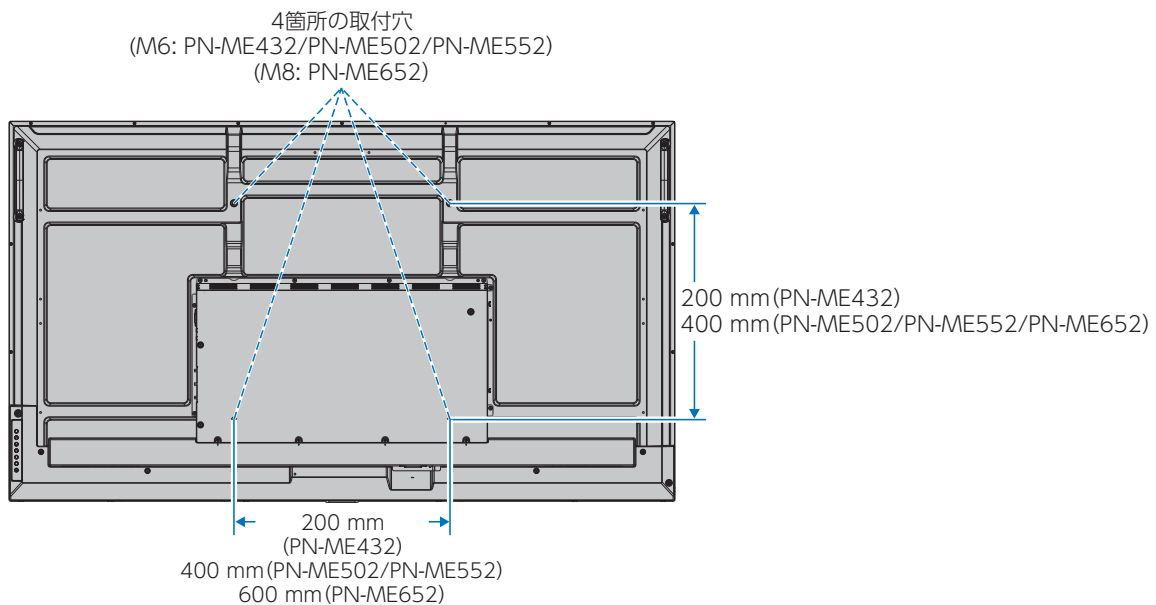


## ■ 設置方法

### ご注意

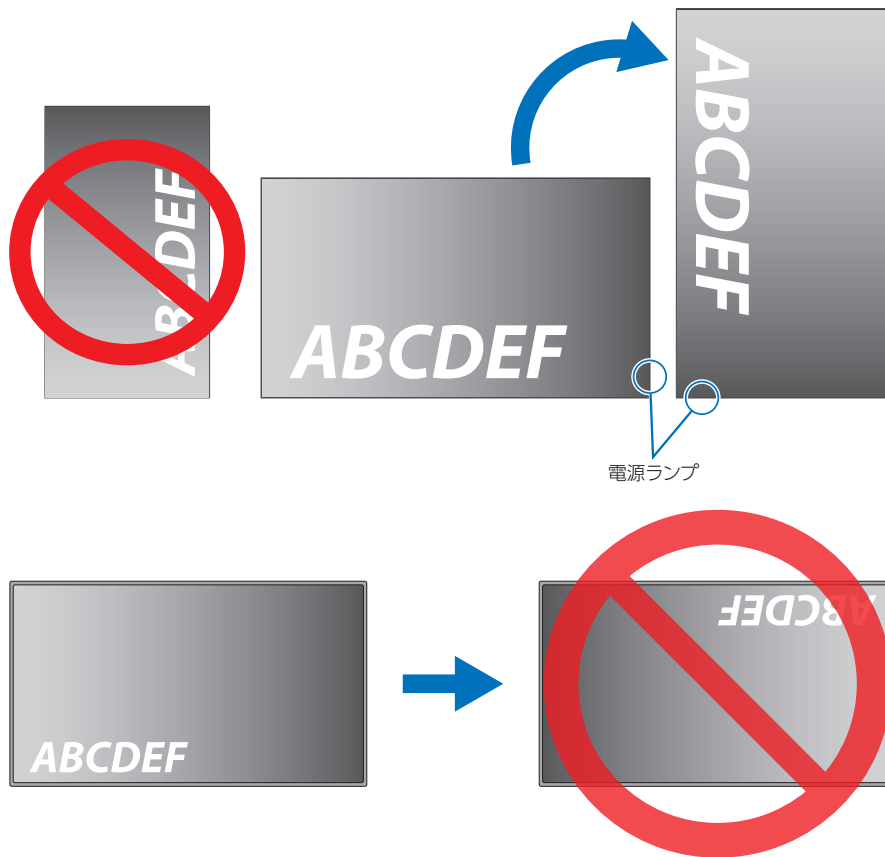
- 取り付け時は本機の取っ手と右下および左下部分を持ち、表示面に触れないようにしてください。他の場所に力が加わるとディスプレイが変形するおそれがあります。
- 必ずディスプレイより大きい場所の上に置いてください。

1. 机の上のような平らな場所にマットや毛布など柔らかいものを敷きます。
2. ディスプレイをその上に置きます。
3. 市販の取付金具を取り付けてください。  
取り付け、取り外し方法の詳細は、市販の壁掛け用や天吊り用金具の取扱説明書を参照してください。



## ■ 取り付け向きについて

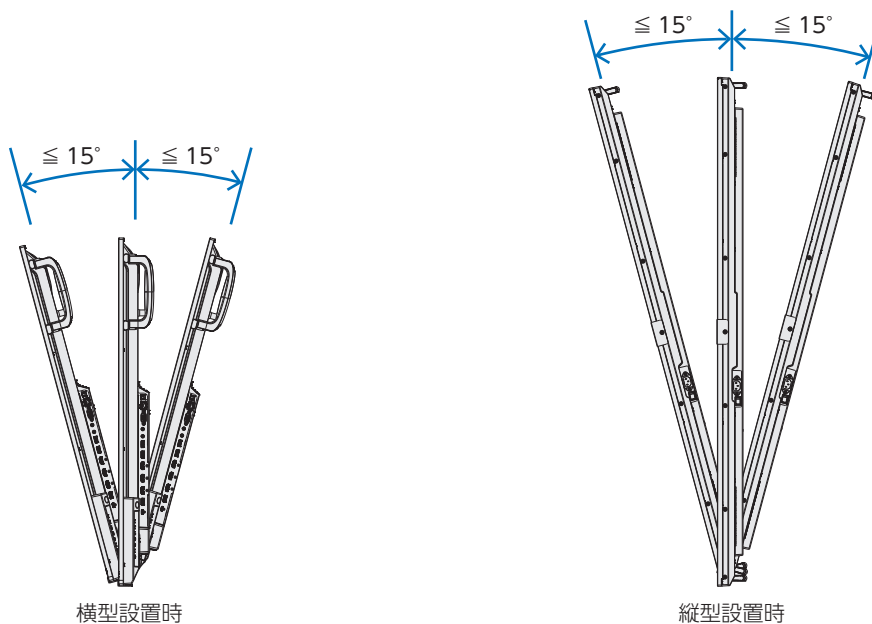
本機を縦型設置で使用するときは、必ず正面から見て左側面を上側に、右側面が下になるよう時計回りに回転してください。  
誤った向きに設置すると、本体内部に熱がこもることがありディスプレイの寿命が縮む可能性があります。  
上下逆さまでの設置はできません。



本機は 16°以上に傾けた状態で使用することはできません。

### ご注意

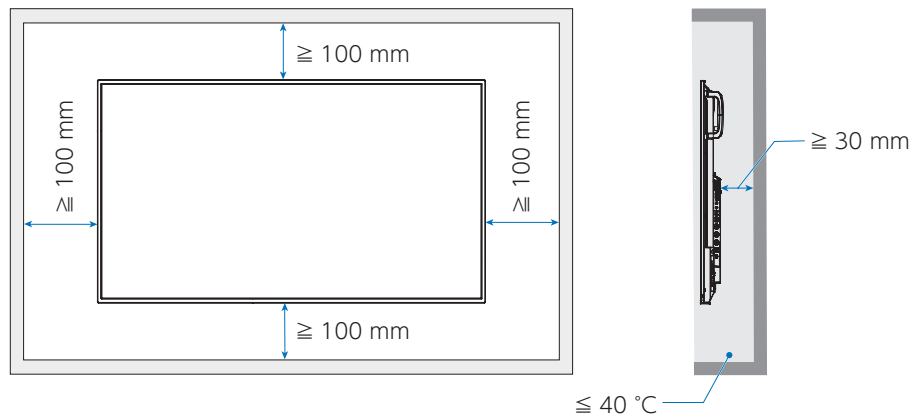
- 16°以上に傾けた状態で設置すると、故障の原因となります。





## ■ 据付条件

熱がこもるのを防ぐため、狭い場所（壁埋め込みなど）に設置する場合は、ディスプレイの周囲は下図のように壁から離してください。



### ご参考

- 本機の使用環境温度の範囲は 0 ~ 40 °C です。

### ご注意

- 内部温度が高くなると「警告」が表示されます。「警告」が表示されたら本機の使用を中止して電源を切り、温度が下がるのを待ってください。
- 本機をケースなどの中でお使いの場合、あるいは液晶パネルの表面をアクリル板などで覆っている場合は、本機の周囲温度をチェックしてください。周囲温度が本機の動作温度を上回ったときは本機の使用を中止して電源を切り、温度が下がるのを待ってください。

# シャープ NEC ディ스플레이ソリューションズ株式会社

本 社 〒108-0073 東京都港区三田一丁目4番28号

●住所などは変わることがあります。(2024.1)